

第六十五回  
帝國議會  
貴族院

# 鐵道敷設法中改正法律案特別委員會議事速記録第七號

昭和九年三月十九日(月曜日)午前十一時  
八分開會

○委員長(伯爵有馬頼寧君) 是ヨリ會議ヲ  
開キマス、直ニ討論ニ入リマス

○子爵秋元春朝君 私ハ本案ニ賛意ヲ表ス  
ル一人デゴザイマス、御提案ノ理由ヲ承リ  
マシテ、誠ニ御尤ナル理由ガ多クアルト思  
ハレル所ガアリマス、尙ホ本委員會ニ於テ  
ノ質疑應答、之ヲ點檢イタシマス、大臣  
ノ御親切ナル、且ツ率直ナル御答辯ニ依リ  
マシテ、當局ノ御提案ニ付テノ御苦心ノ存  
セシ所モ能ク諒解ヲ得マシタ、是ハ噂デア  
リマセウト思ヒマスケレドモ、ドウモ兎角  
工事著手ノ路線ノ選定ニ際シマシテハ、黨  
爭ノ道具ニ供セント言ハムガ如キ非難ガア  
リマシタノデゴザイマス、此案ハ是等ノ點  
ヲ一掃シタ提案ナルカノヤウナ觀ヲ呈スル  
ノデアリマス、尙ホ今回ノ新線工事著手ハ  
線ノ中、御提出ノ追加三線ニ付キマシテハ、  
豫算總會竝ニ本會議ニ於キマシテモ、何等  
異議ノナイ路線デアリマシテ、工事著手ノ  
豫算モ既ニ我々、協賛イタシタヤウナ次第  
デゴザイマシテ、從テ名大臣ト言ハレマス  
ル賢明ナ三土鐵道大臣ヲ御信賴申上ゲマシ

テ、私ハ本案ニ賛意ヲ表スル次第デアリマ  
ス、尙ホ一言御願ヒヲ附加ヘテ置キタイト  
思ヒマスガ、其一ツトシマシテ、省營「バ  
ス」ノ御實施ニ際シマシテハ、兎角民業壓迫  
トカ、或ハ補償ノ金額ガ少イトカ、斯ウ云  
フヤウナ非難ヲ聞キマスルガドウカ此點モ  
十分ニ御考察下サイマシテ、成ルベク不滿  
足者ノナイヤウニ、考慮アラムコトヲ切ニ御  
願ヒ致スノト、モウ一點ハ今回ノ新線追加  
ニ極ク近寄ツテ居リマス日田・中津間、此線路  
ハ敷設法ニ載ツテ居リマスルケレドモ、他ノ  
新線ニ竝行若クハ接近シテ居リマスル與野・  
立川間或ハ須崎・窪川間ト云フヤウナ線トハ  
多少事情ガ違ヒマシテ、既ニ此敷設法ノ線  
路ノ上ニハ私設鐵道ガ一ツ通ツテ居リマシ  
テ、中津カラ守實マデ、而モ三呎六吋、省  
線ト同ジ軌道ノモノガ通ツテ居リマシテ、守  
實ト日田ノ間ハ又貧弱ナ自動車ダサウデア  
リマスガ、自動車營業ヲヤツテ居ルサウデア  
リマス、此線ヲ利用シテ居ル旅客ハ多大ナ不  
便ヲ感ジテ居ル次第デアリマス、又省線ニ  
於キマシテモ久大線ヲ近ク完成セシメマス  
レバ、筑豐線ト申シマスカ、是トノ聯絡運  
輸上最モ有效ナル線ダト思ヒマスガ、是非

鐵道省モ財政ノ許ス範圍ニ於テ速ニ日田・  
守實間ノ工事ヲモ御著手ニ相成ラムコトヲ  
切ニ一ツ御願ヒ致シマス、此二ツ線ヲ實ハ  
大臣ノ御意思ヲ確メテ置イテカラト思ヒマ  
シタケレドモ、賢明ナル大臣ノコトデゴザ  
イマスカラ、私ノ意ノアル所ハ十分御洞察  
相成ツタコトト思ヒマスノデ、御實施ニ當リ  
マシテハ御考慮アラムコトヲ御願ヒ致シマ  
シテ、此事ヲ附加ヘテ賛成イタシマス

○青木周三君 私ハ此案ニ賛成ヲ表シナイ、  
不賛成ノ者デアアルノデアリマスガ、各線ニ  
付テ多少不賛成ノ程度ヲ異ニシテ居ルノデ  
アリマス、嚴格ニ言ヘバ、修正説ヲ提出ス  
ベキデアリマスルケレドモ、各派ノ態度モ  
凡ソ決マツテ居ル際デアリマスカラ、此際新  
ニ修正説ハ出シマセヌケレドモガ、私ガ茲  
ニ賛成セザル理由ヲ一應申上ゲテ置カスト  
イカスト思ヒマスカラ……既ニ質問ノ際ニ  
私ノ意見ノ大部分ハ御耳ニ入レテ居ルコト  
デアリマスカラ、今更ニ蛇足ヲ附ケル必要ハ  
アリマセヌガ、併シ質問中ニ現レタ意見ハ  
極メテ散漫デアリマスカラ、之ヲ要約シテ  
申上ゲテ置ク必要ガアラウト思フ、此三線  
ノ中私ガ最モ非難ヲ致シマスノハ添田・日田

間デアリマスルガ、須崎・窪川間ト雖モ非難  
ヲ免レナイノデアリマスルガ、併シ最モ私  
ガ憂慮シテ居ルノハ添田・日田間デアリマス  
是ニ關シテハ政府ノ御取調ベガ甚ダ不完全  
デアルト云フコトヲ感ゼザルヲ得ナイ、質  
問ノ際ニ伺ヒマシタ通りト致シマス云フ  
ト、此案ハ建設局デ調ベラレテ、サウシテ  
大臣ノ御手許ニ出シテ、サウシテ大臣ガ達  
觀ト經驗ヲ以テ之ヲ或ハ削除シ、或ハ修正  
シテ殘ツタモノノ中ニ、此添田・日田間  
ノ線ガアルト云フコトデアアル、然ルニ  
段々質疑應答ヲ重ネテ見マスルト云フ  
ト、案ヲ立テタ建設局ニモ幾分力認識  
不足ノ點ガアル、ソレハ鐵道會議ニ、  
於キマシテ、私ガ申シマシタ通りニ、此線  
ノ主ナル理由トスル所ハ、石炭ニアルヤウ  
デアリマス、石炭ニ關シテ十分ナ取調ベガ  
アルカト云フコトヲ聽キマシタ所ガ、其當時  
ハマダ石炭ト云フモノニ對シテ十分ナ御取  
調ベガナカッタ、何故鐵道監督局ノ意見ヲ徵  
シナカッタカト云ツタラバ、鐵道監督局ハ容  
易ニ意見ヲ發表シテ呉レナカッタ、故ニ鐵道  
省ノ技師ガ行ツテ調ベタ、斯ウ云フ風ナ御答  
辯デアッタ、此委員會ニ於キマシテハ鐵道監

督局長ニ來テ實テ聽イテ見マス、少シモ隠ス所ガナイ、十分ニ意見モ發表スルシ、材料モ提出スル、斯ノ如クデゴザイマシテ、而モ鐵道會議ノ時ニハ私モ實ハ材料ヲ持チマセヌカラ、凡ソ此處ノ炭ハ埋藏量ハ五千萬噸位ダラウト考ヘテ居ッタ、是ハ他ニ何等根據ノナイコトデアアル、サウ云フ風ニ思ッテ居ッタノデアリマスガ、此議場デ聽キマスト、埋藏量ハ撫順炭坑ノ半分、四億萬噸アルト云フ、其中デ掘得ル所ノ炭ガ三億萬噸、是程ノ大キナ炭田ガアル、此線ハ鐵道大臣ガ他ノ耶馬溪ヲ廻ル線ニ比シテハ比較ニナラヌ良イ線デアアルト云ハレルト意見ト一致スルノデアリマシテ、若シ是ガ此炭田ガ斯ノ如ク大キナモノデアアルナラバ、何トカシテ洞海灣ニ結び付ケタ方ガ私ハ宜カラウト考ヘルノデアリマス、併ナガラ其處ニ大臣ノ御考ヘニ一ツノ矛盾ガアッタコトヲ發見シタコトハ諸君モ御承知ノ通りデアアル、大臣ハ眞實技術ガ進歩シテ、三十分ノ勾配ニ取ルコトガ、普通ノ輸送能力ハ同ジニシテ、三十分ノ勾配ニ取ルコトガ出來ルヤウニ考ヘラレルヤウニ伺ハレル、然ルニソレハ全クサウデナイノデアリマシテ、是ハ三十分ノ勾配デアリマス、四十分ノ勾配ニ比シテ半分ノ輸送能力シカナイ、四十分ノ勾配

ハモット平坦ナ二百分位ノ線ニ比ベテ半分位シカナイ、而シテ平坦ノ線ニ比ベルト三十分ハ殆ド三分ノ一、若クハ四分ノ一位ノ輸送能力シカナイ、斯ウ云フ狀態デアリマシテ、此線ヲ以テ此三億萬噸ノ石炭ヲ運ブト云フコトニ致シマスルト云フト遠カラズ將來ニ於テ行詰ルコトダト思フ、私ノ計算シマシタ通りニ「レール」ヲ重クシテ、サウシテ機關車ヲ二ツ付ケマシテモ、サウシテ二十五回位ノ運轉ヲ致シマシタ所ガ此石炭ヲ二百萬噸運ブコトハ不可能デアアル、斯ウ云フ風ナ炭田ハ將來ニ二百萬噸位ノ炭ヲ出スコトハ、今迄ノ材料ニ依ッテ調べマスル所ニ依ルト、二百萬噸位ノ炭ガ出ルコトハ殆ド疑フ餘地ガナイト思ハレルノデアリマス、デアリマスルカラ、若シ眞實鐵道大臣ガ考ヘラレルヤウニ此線ハ久大線ト北九州トヲ結付ケル直線デアッテ宜イ線デアアルト御考ヘニナルナラバ、是ハ三十分ノ一ノ勾配デナシニ四十分ノ勾配ニ御取リニナラナケレバナラス、ソレハ僅ニ四百萬圓ヤ三百萬圓ノ問題デナクテ鐵道ヲカケル際ニハ少クトモ將來二十年位ノ先ヲ見越シテオカケニナラナケレバナライ、サウ致シマスルト云フト此鐵道ハドウシテモ鐵道大臣ノ御考ヘノヤウデアアルナラバ、ドウシテモ四十分ノ

一ニ取ッテ置カナクチャナラス線ダト考ヘル、又片方カラ考ヘマスルト云フト此炭田ハ實ハ夜明ノ方ニ行キマスルト云フト三十分ノ下リニナル、夜明カラ久留米ヲ通ッテサウシテ博多ノ方ヘ出スト、斯ウ云フコトニナリマスルト云フト非常ニ海岸ニ近イノデアリマス、而モ勾配ハ下リ勾配デ此山ヲ登ッテ筑豐ノ野ニ出テ來ルヨリハ四倍カ五倍ノ輸送能力ガ出テ來ル、サウ云フ哩數ヲ比較シテ見マスルト云フト夜明カラ博多迄ガ約七十五「キロ」位デアリマス、約七十五「キロ」ト考ヘテ居リマスガ、ソレカラ夜明カラ此北添田ノ線ヲ通ッテ若松ニ出ル、是ハ約九十三「キロ」バカリニナル、此夜明カラ添田ニ行キ添田カラ若松ニ行ク「キロ」數ヲ加ヘルト云フト九十三「キロ」位ニナル、サウシマスルト云フト此夜明カラ博多ニ出ル方ガ遙ニ近イ、九州石炭、筑豐、福岡縣ノ炭田カラ出ル炭ヲ移出スル港ニハ若松ガアリ小倉ガアリ、門司ガアリ博多ガアリ、皆一樣ニ此處カラ炭ヲ移出シテ居ルノデアリマス、デアリマスルカラ此炭ヲ夜明ニ移送シ、夜明カラ久留米ヲ通ッテ博多灣ニ出セバ、寧ロ海ニ出ルニハ筑豐ヨリ二十「キロ」バカリ近イ、斯様ナ便利ガアルノデアリマスルカラシテ、而モ久大線ヲ以テ此炭ノ動キヲ見タ上デ是非ヤ

ラナクチャナラヌト云フコトデアアルナラバ、此上デ御考ヘナッテ決シテ遅クナイ、私ハ敢テ此線其モノニ反對ニスルモノデハアリマセヌケレドモガ、之ニハ十分ナ考究ガ積ンデカラ一年若クハ二年デモ久大線ガ通ジテ其荷物旅客ノ動キヲ見タ上デ御考ヘニナッテ決シテ遅クハナイ、サウ急ニ此處ヲ御急ギニナル必要ナイト考ヘルノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ此添田・日田間ノ線ヲ削除セラレルコトガ私ハ國家ノ爲メ非常ニ利益ナコトデアアル、又サウナラナケレバナラス、斯ウ云フヤウニ、フシダラナ案ヲ急ニ通過サセルト云フ必要ハナイヤウニ考ヘル、此點ハ私ハ尙ホ機會ヲ以テ申上ゲルコトガアルカモ知レマセヌケレドモガ、此委員會ニ於テ私ノ意見ヲ申上ゲテ置イテ、討論ヲ終リタイト思フ

○委員長(伯爵有馬賴寧君) 他ニ御發議ハゴザイマセヌカ

○大島健一君 私モ此案ニ贊成ヲ致シマスニ付キマシテ一言申上ゲタイト思ヒマス、大宮・飯能線モ誠ニ結構ナ線ト思ヒマス、是ハ自カラ東北ヨリ西南ニ通ズル幹線ノ一部ヲ成スノデアリマスカラ、其輸送力ニ遺憾ノナイヤウニ十分ニ輸送ノ出來ルヤウニナルコトヲ希望イタシマス、又只今青木君ヨ

リ御意見ノアリマシタ添田・日田間ノ鐵道、是ハ其地方ノ炭坑ノミナラズ、過日はモ鐵道大臣ヨリ御話ノヤウニ鐵道ノ聯絡ノ上カラ、殊ニ其系統ノ上カラ、北九州ヨリ此大ノ線ノ平野ニ連ラナリ、自カラ此中央ニ至ル幹線用ノ働キヲナス一線デアリマスカラ、極ク必要ナ線ト思ヒマス、唯輸送力ニ至テハ今青木君ヨリモ其道ニ堪能ナル、其道ニ深イ知識ヲ有テ居ラレマシテ、色々御説明ガアリマシテ、御尤ニ存ジマス、併シ是ハ過日モ其點ヲ懸念シテ伺ヒマシタノデ、機關車ノ牽引力ヲ増シ、尙ホ機關車ヲ増セバ、聯絡ハ故障ナク、久大線ノ方ヘ繼ゲマシテ、輸送ガ出來ルト云フ御話デアリマシタ、私ハ其點ハ先ヅソコラハ出來ルグラウ、若シ大ナル炭田ノ輸送ヲ考ヘマス、是モ亦色々方法モアラウト思ヒマス、鐵道當局ハ勿論ノコト又巧者ナ御考モアラウト思ヒマスカラ、ソレニ信賴シテ、ソレ以上私ハ申スコトハアリマセヌ、唯過日モチヨット申シマシタ如ク、今日ハ全體ノ情勢ガ變リマシテ、日本海方面ガ以前ノ如ク閑却サレヌヤウニナリマシテ、從テ鐵道ガ從來ハ東北ヨリ西南ト云フヤウナ風ニ主ニ輸送ノ大部分ガ動イタノデアリマスガ、今後此南北ヲ横ギツテノ輸送ガ必要ニナラウト思ヒマ

ス、平時ハ勿論ノコト戰時ニ於キマシテモ其必要ヲ認メルノデアリマス、是ハ他ニ兵ヲ出スバカリデナシニ、國防ノ上ニ於テ我我日露戰爭中ニモ實際ヲシマシタガ、御覽ノ通りドノ海岸ヘモ近ヅケル所デアリマスカラ、之ニハ危險ナ場所ニ直グニ相當ノ備ヘヲスルト云フコトニハ、日本海方面ヘ向ッテモ機敏ニ防禦力ノ配置ヲスル、是ハ多クノ兵力ヲ長ク位地ニ駐メルノデアリマセヌ、内鮮ヲ各地ノ所要ノ地點ニ出入、出沒セルト云フコトノ考カラ戰時ニハサウ云フコトモ必要デアリマスカラ、ドウカ其御考ヲ以テ此既ニ定マツテ居リマス所ノ敷設法ノ豫定線ノ御整理等ガアツテ、其整理サレタル餘力ガ只今申サウナ點ニ向ッテ發動サレルヤウニ希望スルノデアリマス、其意味ヲ以テマシテ此案ニ贊成ヲ致シマス

○桑山鐵男君 私ハ原案ニ贊意ヲ表スル者デゴザイマスガ、私ハ私一個ノ意見デゴザイマシテ、私共ノ會派ヲ代表シテノ意見デハ勿論ゴザイマセヌ、極ク平凡ニ考ヘテ居リマス、鐵道ハ之ヲ利用者ノ方ノ側カラ見マスレバ多イ程宜イノデヤナイカト斯ウ考ヘマス、又國ノ方ノ側カラ考ヘテ見マシテモ、鐵道當局ニソレノ相當ノ人ガ居ルノデアリマスカラ、サウ無暗ナコトヲヤル

コトハナイグラウ、多少後先キハアルカモ知レマセヌガ、後先キガアツテモ宜イノデヤナイカ、チツデモ餘計出來ル方ガ宜イノデヤナイカト云フヤウナ極ク平凡ナ考デアリマスガ左様ニ考ヘマス、元來敷設法ナルモノハ形式的ニ申シマスレバ法律ニナツテ居リマスノデ、從テ本院ニモ出テ參ル譯デアリマスケレドモ、……改正等ニ付テハ本院ニ出テ參ルノデアリマスケレドモ、實質上ハ是ハ法律ノ性質ヲ持ッテ居ラスト考ヘテ居リマス、單純ナ國ノ福利施設ト申シマスカニ屬スルモノデヤナイカト考ヘテ居リマス、人民ノ幸福ヲ増進スルト云フ方ノ側ノモノデヤナイカト考ヘテ居リマス、之ニ似タヤウナモノハ電信電話トカ、郵便等ト同ジヤウナ性質ノモノニ屬スルモノデハナイカト考ヘテ居リマス、併シ形ト致シマシテハ法律デ以テ決メテアリマスルガ故ニ、無論鄭重ニ之ヲ扱フコトガ必要ト思ヒマスガ、其爲ニハ特ニ鐵道會議等モゴザイマシテ、ソコデ御審査ヲ爲サルコトデアリマスガ故ニ、モウ國ガヤラウト云フコトニサウ大シテ……無論多少後先キニ付テハ政府當局ノ見ル所ト我ノ考ヘマス所ノ違フ點モアルカモ知レマセヌガ、成ルベク餘計カケテ貰フヤウニシタイト云フ實ハ希望ヲ

持ッテ居リマス、從ヒマシテ本案ニハ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマスルガ、ドウカ此際一言希望ヲ附加ヘルコトヲ御許シテ頂キタイト思ヒマスガ、ドウカ鐵道ノ建設ニ當リマシテハ出來ル限り地方ノ利便ヲ増スヤウナ方法ヲ御執リ下サレムコトヲ切望イタシマス

○委員長(伯爵有馬賴寧君) 他ニ御發議ハゴザイマセヌカ……他ニ御發議ガナケレバ討論ハ終了シタモノト認メマス、直ニ採決ニ入リマス、原案ニ贊成ノ諸君ノ舉手ヲ御願ヒ致シマス

(舉手者多數)

○委員長(伯爵有馬賴寧君) 多數デゴザイマス、本案ハ可決セラレマシタ、尙ホ私ヨリ一言申上ゲテ置キマスガ、多數ヲ以テ可決ハ致サレマシタケレドモ、色々質疑應答ノ間ニ大分御異論モアツクヤウデアリマスカラ、其點ハ私ヨリ委員長報告ノ際ニ成ルベク申述ベルコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ御諮リ致シマスガ、只今付託ニナリマシタ新シイ案ガ二ツアリマスガ、如何イタシマセウカ、引續イテ開キマセウカ、議案ガ輻輳シテ居リマスカラ成ルベク進行

シテ欲シト云フヤウナ希望ガ委員課ノ方デモアルヤウデアリマスガ……

〔引續キ御開キニナッテ説明ヲ……〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵有馬頼寧君) 説明ダケ見ニ角午前中ニ伺フコトニ致シマス

○國務大臣(三土忠造君) 秋田鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案ニ付キマシテハ、先刻本會議デ概略ノ説明ヲ申上ゲテ置キマシタガ、此場合稍、詳細ニ御説明申上ゲタイト存ジマス、第一ノ秋田鐵道ハ、省線與羽本線ノ大館驛カラ省ノ花輪線ノ終點、陸中花輪驛ニ達スル地方鐵道デアリマス、元來省花輪線ハ、東北本線トノ聯絡線デアリマシテ、之ヲ好摩、陸中花輪間ノ建設ニ止メマシタコトハ、秋田鐵道ト相俟ッテ其目的ヲ達成セントシタモノデアリマス、而シテ花輪線ハ昭和六年十月開通イタシマシタノデ、本鐵道ハ本州ノ東北部デ、東北及奥羽ノ兩幹線ヲ聯絡シテ居リマス爲ニ、運輸ノ系統カラ觀マシテ重要ナ使命ヲ有ッテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ買收シテ運輸ノ圓滑ヲ圖リ、旁、地方開發ニ資セントスルノデアリマス、次ニ佐久鐵道ハ、信越本線小諸驛カラ小海驛ニ至ル地方鐵道デ、省ノ小海線ト密接ナ關係ヲ有ッテ居ルノデア

リマス、省ノ小海線ハ、本鐵道ノ終點小海驛カラ中央本線ノ小淵澤驛ニ達スル線路デ、其建設工事ハ起點終點ノ兩方面カラ著手イタシマシテ、各一部ハ既ニ開業シテ居リマス、然ルニ小海・佐久海ノ口間ハ僅カハ「キロ」九分ノ短區間デ、而モ省線トハ直接ノ聯絡ガナク、本鐵道ヲ介シテ孤立シテ居リマスノデ、開業當初カラ列車運轉ヲ本鐵道ニ委託シテ直通運轉ヲ圖リ、以テ輸送ノ流レニ適應セシメテ來タヤウナ次第デアリマス、元來本鐵道ハ、省ノ小海線ト輸送系統ヲ一ニシ、且ツ兩者ハ一體トナッテ信越本線ト中央本線トヲ、聯絡スル重要ナ使命ヲ有ッテ居ルノデアリマス、而シテ小海線ハ昭和十年度ニ全通イタシマスノデ、其全通ト同時ニ右ノ使命ヲ完全ニ果サシムル爲メ、今回本鐵道ヲ買收改築シ、旁、地方産業ノ開發ニ資シタイト思フノデアリマス、第三ハ、新宮鐵道デアリマス、本鐵道ハ紀州ノ新宮ト勝浦町トヲ聯絡スル地方鐵道デアリマス、國有鐵道紀勢線ハ昭和十六年度ニ竣功ノ豫定デアリマスガ、工事ノ促進上其中間カラモ起イタシマシテ既ニ勝浦・田原間ハ昭和七年十月、新宮・成川間ハ昭和八年十一月ソレノ工事ニ著手イタシタノデアリマス、本鐵道ハ右兩區間ノ中間ニ介在シ

テ、全線國有鐵道ノ工事線ニ該當シテ居リマスノデ、別ニ新線ヲ建設スルヨリモ、之ヲ買收シテ改築スル方が得策ナリト認メタノデアリマス、而シテ勝浦・田原間ハ昭和九年度、田原・串本間ハ昭和十年度、新宮・阿田和間ハ昭和十一年度ニ何レモ開業ノ豫定デアリマスガ、此開業ニ當ッテ本鐵道ト別箇ニ營業セムトスレバ、車輛、機關庫、其他ノ諸設備ヲ整備セネバナリマセヌノミナラズ、昭和十一年度迄ニハ串本・阿田和間ノ直通運轉ガ出來ルヤウニ本鐵道ヲ改築スル必要ガアリマシ、又新宮・阿田和間ノ工事材料ノ大部分ハ昭和九年度間ニ準備ヲ必要トスルノデアリマシテ、是等ハ何レモ勝浦・陸揚シテ、本鐵道ニ依ッテ運搬シナケレバナライノデアリマスカラ、今回之ヲ買收シテ利用シタイト考ヘルノデアリマス、最後ニ簗上鐵道ハ山陰本線宍道驛カラ木次驛ニ至ル地方鐵道デアリマス、國有鐵道ノ木次線ハ本鐵道ノ終點木次驛カラ起工シ、出雲三成迄二十「キロ」四分ハ既ニ昭和七年十二月開通シタノデアリマスガ、本鐵道ハ省木次驛ト輸送系統ヲ一ニスルモノデアリマスカラ、木次線ノ客車ヲ本鐵道ニ直通運轉シツツアル狀態デアリマス、加之、三新線ガ全通シマシタ曉ニハ本鐵道ハ陰陽聯絡ノ使命ヲモ有

スルニ至ルノデアリマス、而シテ木次線ハ昭和十一年度、三新線ハ昭和十二年度ニ全通ノ豫定デアリマシテ、ソレ迄ニ本鐵道ヲ改築スル必要ガアルノデアリマス故ニ、之ヲ買收シテ運輸ノ系統ヲ整備シ、旁、地方産業ノ開發ニ資シタイノデアリマス、以上四ツノ鐵道ノ買收ニ付キマシテハ、其延長總數百四「キロ」三分、建設費ハ約六百六十萬圓ニナッテ居リマス、尙ホ買收價額ニ付テ一言申上ゲマスト、買收ノ日ガ未ダ決定イタシマセヌカラ、今日價額ヲ明言スル譯ニハ參リマセヌガ、既往二三年間ノ收益率ヨリ還元イタシマシタ額ガ、建設費ヲ時價ニ依ッテ國債ニ換算シタ金額ニ達シナイ場合ニ於ケル買收價額ニ付キマシテハ、買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ時價ニ依ッテ國債ニ換算シタ金額ト、收益還元額トノ折半額ト協定イタシマシタ、次ニ播電鐵道補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案ニ付キマシテハ、本會議デ概略ノ説明ヲ申上ゲテ置キマシタガ、更ニ此機會ニ詳細御説明申上ゲタイト思ヒマス、本鐵道ハ網干港驛ヨリ新宮驛ニ至ル十六「キロ」九分ノ本線ト、途中糸井驛ヨリ分岐シ、省山陽本線網干驛ニ至ル聯絡線零「キロ」四分、合計十七「キロ」三分デ、軌間ハ四呎八吋半ノ地方鐵道デアリマス、本鐵道ハ運

輸開始以來、多少社運ニ消長ハアリマシタガ、昭和年間ニハ相當ノ益金ヲ擧ゲテ居タノデアリマス、然ルニ姫路・津山間ヲ聯絡スル國有鐵道ノ姫津線ハ昭和二年ニ姫路方面ヨリ工事ニ著手シ、同六年十二月東舞崎マデ、同七年七月播磨新宮マデ開運イタシマシタ爲、本鐵道ノ新宮町、播電龍野附近間ニ於ケル相互發着ノ旅客貨物ノミナラズ、姫路京阪神方面トノ旅客貨物モ大部分省線ニ移ルコトナリ、遂ニ營業ヲ繼續スルコト能ハザルモノトシテ、營業廢止ノ許可ヲ申請スルニ至ツタノデアリマス、今本鐵道ニ對スル省線開通ノ影響ヲ見マスルニ、新宮町、播電龍野間ニ於キマシテハ、省線開通前ハ平均二萬七千圓ノ營業收入ニ對シ、營業費ハ一萬九千圓デ、約八千圓ノ益金ヲ擧ゲ、建設費ニ對シ三分二厘ノ割合ニ當ツテ居ツタノデアリマスガ、省線開通後ノ最近一箇年ニ於キマシテハ、營業收入ハ一萬一千圓ニ降ツタノニモ拘ラズ之ニ對スル營業費ハ收入ノ減少割合ト比例シテ減少スルコトガ出來ナイ爲、結局缺損ヲ示スニ至ツタノデアリマス、又並行區間デナイ播電龍野、網干港間ハ本鐵道中最モ成績良好ナル區間デアリマスガ、省線開通後ハ網干驛經由ノ貨物旅客ノ大部分ガ姫津線經由ニ移ツタ爲、從前

ノ益金平均割合年七分八厘ガ、二分五厘ニ低下スルニ至リマシタ、併シ新宮町、播電龍野間ノ營業ヲ廢止シテ、此播電龍野、網干港間ヲ獨立シテ經營スルモノト致シマスト、其益金割合ハ僅ニ年一分ニシカ當ラナイ結果トナル見込デアリマス、更ニ全線新宮町・網干港間ニ付テ見マシテモ、省線開通前毎年平均十三萬四千圓ノ營業收入ガアリマシタガ、開通後ノ最近一年間ニ於キマシテハ、僅ニ八萬四千圓トナリ、之ニ對スル營業費ハ九萬三千圓デアリマシタノヲ、七萬四千圓ニ切詰メ得タニ過ギズ、差引益金ハ四萬一千圓デアリマシタモノガ、辛ウジテ一萬圓ヲ保チ、益金割合ニ於テ年六分ガ遂ニ一分五厘ニ降ルニ至リマシタ、斯様ニ營業成績ガ非常ニ低下イタシマシタノデ、何レニシテモ、會社ハ將來營業ヲ繼續スルコトハ、出來ナイモノト認メラルノデアリマス、而シテ此營業成績ノ低下ハ一般經濟界ノ不況其他ノ影響ガナイ譯デアリマスマイガ、主トシテ省線ガ接近並行シテ敷設セラレタ爲ニ外ナラナイノデアリマス、仍テ地方鐵道法第三十六條ノ規定ニ依リマシテ、其營業廢止ニ依リテ生ズル損失ヲ補償セムトスルノデアリマス、尙ホ補償金額ハ法律ノ規定ニ依リマシテ計算イタシマシタ益金還元額

ガ、七十九萬九千三十二圓、此中ヨリ補修費及殘存物件評價額ノ國債還算額ヲ控除イタシマス、六十三萬九千六百二十二圓トナルノデ、是ガ法律ノ規定ニ依ル最高限度デアリマシテ、此範圍内デ政府ガ決定シテ補償スルコトニ法律定メラレテ居リマス、故ニ先例ニ依リマシテ、益金還元額七十九萬九千三十二圓ト、建設費六十八萬七千四百九十三圓ノ國債換算額六十六萬七千四百六十九圓トノ合計ヲ折半シタ金額、七十三萬三千二百五十圓カラ補修費及殘存物件ノ評價額ノ國債換算額ヲ差引キ、五十七萬三千八百四十一圓ガ一應補償金額トナリ、五分利付交付公債ノ額面ニ於テ五十七萬三千八百五十圓デアリマス、併シ營業廢止ノ日ガ未ダ決定イタシテ居リマセスノデ、此金額ハ交付公債ノ時價ノ變動如何ニ依リ、多少ノ相違ハアル譯デアリマスカラ、此點ハ豫メ御諒承ヲ御願イタシマス、尙ホ一言附加ヘテ申上ゲテ置キマスガ、本鐵道ガ營業廢止イタシマシテモ、現在ニ是ヲ利用シテ居リマスル旅客、貨物ノ輸送ニ付キマシテハ、會社ニ於テ免許ヲ有スル自動車事業ノ規模ヲ一層擴大セシメ、實際上不都合ナカラシムル豫定デアリマス、最後ニ買収及補償ノ爲メ交付スル國債ノコトニ付テ申上ゲマスル

ト、地方鐵道法デ算出スル補償金額ハ五分利付國債證券ノ額面デ表レルノデアリマスガ、別途提案イタシマシタ低利ノ交付公債ニ關スル法律案デ五分利付國債ノ時價換算金額ト同一額ヲ時價換算シテ、五分利未滿ノ利付國債デ交付シ得ルコトニナリマスカラ、實際交付スル國債ノ額面ハ増加スル譯デアリマス、此點併セテ御了承ヲ御願ヒスル次第デアリマス、何卒兩案御審議ノ上御協賛下サランコトヲ希望イタシマス

○委員長(伯爵有馬賴寧君) チョット速記ヲ止メテ下サイ

(速記中止)

○委員長(伯爵有馬賴寧君) 速記ヲ始メテ下サイ、……ソレデハ是デ休憩シマシテ、午後一時半カラ開キマス

午前十一時五十四分休憩

午後一時三十九分開會

○委員長(伯爵有馬賴寧君) 午前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、御質問ガアリマシタナラバ御發言ヲ願ヒマス

○風間八左衛門君 此買収ヲサレマス秋田鐵道外三鐵道ノ表ガ出テ居リマスガ「本表ハ會社ノ營業報告書ニ依リ作成セリ」ト書イテアルノデアリマスガ、大體此算定ノ基礎ハ矢張り營業報告書ノミニ依ッテオヤリ

ニナルノデアリマスガ、其他ノ方法ニ依ッテ  
オヤリニナルノカ、又各社ノ營業報告書モ  
自ラ其内容形式ガ違フト存ジマスガ、此點  
ハドウ云フ風ニ致シテ居リマスガ

○政府委員(喜安健次郎君)

只今御尋ネノ

買收價格ノ計算方法ノ問題デゴザイマスル  
ガ、御手許ニ差上ゲデアリマスモノハ、各  
會社ガ鐵道省ヘ出シテ居リマスル營業報告  
書ニ基イテ作リマシタモノデアリマス、併  
シ實際ニ買收價額ヲ計算イタシマスルノニ  
ハ、係員ヲ會社ニ派遣イタシマシテ、一  
一帳簿ナリ、傳票全部ヲ調べマシテ、  
其調べタ結果ニ依ル譯デゴザイマス、  
ソレカラモウ一ツ、只今御話ノ營業報告書  
ハ、多少會社ニ依ッテ流儀ガ違ッテ居リマ  
ス、サウ云フ流儀ガ違ッテ作ラレタモノニ  
依リマスルト、買收價額ヲ決メル上ニ不  
公平ナ結果ヲ生ズル虞モゴザイマスル爲  
ニ、一ツノ頭デ、一貫シタ方針ト申シマス  
カ、主義ニ依リマシテ計算ヲ致スコトニナ  
ルノデアリマスカラ、多少此數字ハ動イテ  
來ルコトハ已ムヲ得スト存ジテ居リマス

○風間八左衛門君

過日青木サンカラモ御

尋ネニナツタヤウデアリマスガ、鐵道大臣ニ

於カレテハ、或會ノ席上ニ於テ、現在ノ民  
間ノ鐵道軌道ニ對シマシテ、代行機關トシ

テ自動車ガ非常ニ發達シテ參ッテ脅威ヲ受  
ケテ居ル、其他種々ノ關係上、私設ノ鐵道  
軌道ハ餘程經營ガ困難ニナッテ居ルコトハ、  
是ハ日本ダケデナシニ世界的ニサウデア  
ル、亞米利加ノ如キハ「レール」ヲ外シテ自  
動車ヲ走ラシテ居ル、英吉利ハ法律ヲ以テ  
之ノ合併ヲ強要シテ居ルト云フヤウナ狀態  
デアリマシテ、是ハ我が日本ニ於テモ法律  
ヲ以テ成ルベク合併ヲセシメタイ、斯ウ云  
フ風ニ思ッテ居ルノダケレドモ、ドウモ天降  
リ的ノ法律デハ出來ナイノデアリマシテ、  
出來ルダケサウ云フ風ニ民營ノ會社自體モ  
サウ云フ考ヲ持ッテヤッタ宜イデヤナイ  
カ、斯ウ云フ風ノ大臣ガ御意見デ德憑サレ  
テ居ルコトハ非常ニ實ハ結構ナコトダト私  
ハ思フノデアリマス、併シ其經營振リニ付  
テハ、各會社々々多少經營方針モ違ヒ  
マセウシ、又只今承ツタヤウニ、假ニ買收サ  
レル時デモ、各社ノ營業報告書ト云ノモノ  
ハ矢張り異ッテ居ッテ、サテ買收サレルト云  
フ時ニモ餘程手數ノカカルモノダト思フ、  
又之ヲ民間ニ於テ合併セシメヤウ、斯ウ云  
フ風ナ機運ヲ作ルニハ、大體此考課狀即チ  
營業報告書ナンデスガ、之ヲ見マシテモ我  
我素人ガチヨット見マシテハ各社ノ對照ガ  
出來得ナイ、ソレハ大體ニ於テ鐵道省ニ登

記ヲ致シマス、報告ヲ致シマス事項ハ御定  
メニナッテハアルノデアリマスガ、其副業デ  
アリマストカ、其他ノモノデアリマストカ  
云フヤウナモノハ、十分ニ素人ガ見マシテ  
モ其内容ガ分リニクイノデアル、今日鐵道  
ノ方ハサウデアリマスガ、電氣事業ノ方ニ  
ナリマスト、遞信省ガ此勘定科目ノ様式ヲ  
非常ニ細カク示シマシテ、嚴重ナル監督ヲ  
致シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマス  
カラ、鐵道省ニ於テモ遞信省ガヤッデ居リ  
マスヤウナ風ニ、勘定科目ノ様式ヲ御定メ  
ニナッデ、サウシテ大體素人ガ見マシテモ、  
亦株主ニナル上カラシマシテモ、其會社ノ  
内容ヲ比較研究ガ出來ル、斯ウ云フヤウナ  
便宜ヲ與ヘラレ、且ツサウ云フ對照ヲシテ、  
其會社ノ株ヲ持ツト云フヤウナコトニ容易  
ニ便利ナンデアリマス、大臣ニ於カレマシ  
テ遞信省ハ電氣事業法ニ依リマシテ勘定  
科目ヲ明細ニ示シテ居ルノト同ジヤウニ、  
鐵道省ニ於カレテモサウ云フ風ニ嚴重ニ監  
督スルト申シマスガ、副業其他ノモノニ付  
キマシテモ素人ガ見マシテ一目瞭然ニナリ  
マスルヤウニ、又會社ノ此考課狀ガ對照シ  
得ルノニ便利ナヤウニ、甲ノ鐵道ト乙ノ鐵  
道トハドウモ營業報告書ガ區々デ一向對照  
ガ出來ナイ、斯ウ云フコトハ甚ダ不便ニ思フ

ノデスガ、之ニ對シテ大臣ノ御考ヲ承ッテ置  
キタイ

○國務大臣(三土忠造君)

遞信省ノ方ハ餘

程細カイ點迄調査シテ報告サレテ居ルヤウ  
デアリマスガ、鐵道省ハソレ程マデニハ行  
キマセスガ、御希望ノヤウナコトニ付キマ  
シテハ鐵道省ト致シマシテモ出來ルダケ努  
メテ見マス

○風間八左衛門君

大變只今ノ大臣ノ御答

辯ニ依リマシテ満足ヲ致ス次第デゴザイマ  
スガ、大臣モ申サレテ居ラレルヤウニ、會  
社ノ合併ヲ致シマスルノハ無論重役關係ト  
カ又利益問題等ガアリマシテナカ／＼容易  
ニハ出來得ナイノデアリマス、サウ云フヤ  
ウナ風ニナリマススト利益問題等ヲ御覽ニナ  
リマシテモ直ニ能ク分リマセウシ、又我々  
素人ガ見マシテモ能ク分ル譯デアリマス、  
合併ヲ促進スル上ニ非常ニ效果ガアルコト  
ト思フノデアリマス、尙ホ又大臣ニ於カセ  
ラレテ現在ノ民營ノ鐵道ハ非常ニ借入金其  
他ノ社債ノ金額ガ多イ、現在約三十億圓程  
ノ資本ノ中デ拂込ガ十二億圓見當デアル、  
社債、借入金ガ十八億圓モアル、併シ此金  
利ガ大臣モ申サレタヤウニ外ノ事業カラ見  
マスト非常ニ高イノデアリマス、之ヲ低利  
ノ金ニ替ヘタイ、現在日本ハ低金利時代デ

アリマスカラ、此時ニ借換ヘタイト實ハ存

ジマシテモ大臣ノ申サレタヤウニ外ノ事業ニ比シテ非常ニ信用ガ薄イ、斯ウ云フヤウナ點カラナカ、安イ金ニ借換ヘルコトガ出來得ナイ、從テ其利益率ノ點カラ云ツテモ非常ニ利益ガ少ナイノデアリマスカラ即低利ニ金ヲ借換ヘルコトガ非常ニ困難デアル、大體營業ノ上カラ行キマスト金利ノ高イノ

デ隨分苦シンデ居リマスコトハ當局ニ於テモ御認メノ通りデアリマスカ、是ハ何トカシテ一ツ出來ルダケ安イ金ニ借換ヘマスルヤウニ先程申シマシタヤウニ營業報告書即チ考課狀ニ比較的信用ヲ一般カラ有チマセヌ爲ニ、サウ云フ點モアラウト思フノデアリマス、是ハ矢張り鐵道省ニ於カレテモ

出來ルダケ内容ハ斯ウ云フモノデアルト云フヤウナコトヲ大體ノ御調べニ依ツテ御交渉ヲ願ヘナイマデモ、斯ウ云フヤウナコトデアルカラト云フコトヲ仰シヤツテ戴ケバ、安イ金ガ借りラレルノデヤナイカト云フ風

ニナリマスカラ、大體御援助下サレルト云フ御趣旨ハ或外ノ機會デ承ツテ居リマスカ、サウ云フ御意思デ十分ニ御努力ヲ願ヘルコトト思フノデアリマスカ、其點ニ付テ尙ホ一層力ヲ御入レ下サルヤウナ御意思ガアルカドウカト云フ點モ斯ウ云フ點モ尙ホ同ッ

テ置キタイ

○國務大臣(三土忠造君) 私設鐵道ガ高金利ノ借入金ヲシテ居ル爲ニ非常ニ苦シンデ

居ルト云フ實狀ヲ能ク存ジテ居リマスコト、何トカシテ全部トハ行キマセヌケレドモ、出來ルダケ低金利ニ借換サセタイ、鐵道省ノ盡力ノ及ブ限りハ其方針デヤリタイト思ヒマス

○風間八左衛門君 只今ノ大臣ノ御答辯有

難ク拜承イタシマシタ、ドウカ何分宜シク御願ヒ致シタイト思ヒマス、尙ホモウ一點伺ツテ見タイト思ヒマスガ、是ハ桑山サンカラ過日モ御質問ガアリマシタノデアリマスカ、此國ガ省營「バス」ヲヤリマス爲ニ私設

ノ鐵道、軌道ガ打撃ヲ受ケル、サウ云フ場合ニハ補償ハ餘程困難デアル、出來得ナイト云フヤウナ意味デアリマシタガ、段々御話ノ結果大臣ニ於カセラレテモ多少ノ考慮ヲシヤウト云フヤウナ意味ノ御答辯ガアツタノデアリマス、然ルニ過日私ガ質問イタシ

マシタノハ是ト反對デ鐵道ガ國デ敷設サレルト云フ時ニ民營ノ「バス」ガアル、ソレガ影響ヲ受ケテモソレハ何等賠償、補償等ノ考慮ヲ致サス、斯ウ云フ風ニハツキリナッテ居ルノデアリマスカ、此問題ハ自動車交通事業法デアリマシタカノ時ニモ大分議論ニナ

リマシテ、民營ノ交通機關、是ガ國デ「バス」

若クハ鐵道等ニ依ツテ民營ノ軌道、鐵道ニ影響ヲ及ボス場合、又民營ノ「バス」ニ影響ヲ及ボスヤウナ場合ニ矢張り此補償ト云フヤウナコトヲ御考ヘ願ヒタイ、サウ云フヤウナ風ノ何カ條件ヲ入レタイト云フコトヲ非常ニ希望イタシテ居ッタ、唯自動車ノ問題デアルカラシテ自動車ガ即チ國營ノ「バス」

ニ依ツテ民營ノ「バス」……即チ自動車ダケニ付テ茲デハ論ズルコトニシテ、此影響ガアツタ場合ハ補償等ヲ致スト云フヤウナコトニナッデアレハ通ツコトト實ハ心得テ居ルノデアリマスカ、其後ニモサウ云フ問題ハ起ツテ居ルノデアリマシテ、大體民業ノ交通機關、即チ鐵道、軌道、自動車、サウ云フモノニ國ガ鐵道、又ハ自動車營業ヲ爲サ

ル場合ニ影響ノアル場合ハ、矢張り桑山サンニ御答ニナツタヤウニ御考慮ヲ願フト云フコトガ至當デハナカラウカト私ハ思フノデアリマス、私ノ質問ト桑山サンノ御質問ニナツタ問題ハ違フノデアリマスケレドモ、全然御答ガ違フヤウナ感じガ致シマス、再

應大臣ニ御聽キシタイト存ズルノデアリマス  
○國務大臣(三土忠造君) 國ガ鐵道ヲ建設スル結果トシテ地方鐵道、軌道ガ影響ヲ受

ケマス時分ニハ賠償スルト云フコトハ申ス

迄モナイノデアリマス、國ガ自動車ヲヤル爲ニ地方ノ軌道、地方鐵道ガ影響ヲ受ケタ場合、此場合ニハ民間ニ許ス場合デモ賠償ハシナイノデアリマス、國ガヤルノモ矢張り同様デアツテ、種類ノ違フモノ、競争機關ガ其處ニ出來ルノデアリマスカラ、民間ニ許ス場合ニ國有鐵道ガ損害ヲ受ケテモ賠償ヲ

取ラスト同様ニ、賠償ハセスト云フ立前デ今迄來テ居ルノデアリマス、丸キリ違ツタ種類ノ交通機關デ多少ノ影響ヲ受ケルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得スト斯ウ見テ居ルノデアリマス、此前ニ貴族院ノ御希望ガアツタ

ノハ、省營「バス」ガ民間ノ地方鐵道、軌道ニ影響シタ場合ニ考慮セヌカ、斯ウ云フ話デシタガ、ソレモ餘程今研究シテ居ルノデアリマスカ、今申サウナ具合ニ民間デヤツタ場合ニハ賠償ハ取ラヌノデアリマス、民間同志デモ賠償ハ取ラヌノデアリマス、單リ國ガヤツタ爲ニ賠償スルト云フコトハ理窟

ハドウカト思フノデアリマス、尙ホ研究題目トシテ一ツ研究シテ見ヤウト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス  
○風間八左衛門君 只今ノ御答辯デ大體分

ス、尙ホ一層ノ御研究ヲ願ヒマシテ、其點ハ矢張り民間ノ軌道、鐵道等ハ大體ニ於テ多少獎勵ノ意味ヲ以テ敷設ヲセヨト云フヤウナ風ニナツタ場所モアルノデアリマス今日ハ段々自動車ノ脅威ヲ受ケテ困ッテ居ルノデアリマス、國ガサウ云フ風ノ「バス」ヲ經營サレテ一層脅威ヲ受ケルモノニ對シマシテハ特ニ御同情ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス

○桑山鐵男君 チョット關聯イタシマスノデ……私ノ聽キ違ヒカモ知レマセスガ、今鐵道大臣ノ仰セハ、民間ニ自動車ヲ許シテ、サウシテ既ニ出來テ居ル……既ニ營業イタシテ居ルモノガ影響ヲ受ケル「コトガアッテモ、ソレハ賠償ハセヌノダカラシテ、國ガヤル場合ニモ同ジク賠償シナイ、斯ウ云フ風ニ仰セニナツタノデゴザイマシタデスカ

○國務大臣(三土忠造君) 國有鐵道ニ竝行シテ民間ノ自動車ヲ許ス場合國ハ無論賠償ハ取ラス、ソレト同様ニモウ一ツハ地方鐵道ニ竝行シテ民間デ「バス」ヲ經營シテモ其間ニ問題ハ起ラヌ、ソレト同ジ意味デ地方鐵道ニ竝行シテ國ガ自動車ヲ經營シテモ今迄賠償ハセスト云フ方針ヲ執ッテ居ッタ、併シソレハ困ルカラト云フ御話モアリマスカラシテ、今迄ノ立前ニ付テ多少變ヘル餘地ガ

アルカト考ヘテ居リマス、斯ウ云フ意味デアリマス

○桑山鐵男君 了解イタシマシタ、非常ニ結構ナコトデゴザイマスガ、唯私一言希望ヲ申上ゲテ置キタイ、國ガ民業ニ依ッテ影響ヲ受ケル場合ガアリト云フコトハアルカモ知レマセヌ、ソレハソレデ宜イデヤナイデセウカ、併ナガラ國ガ民業ヲ壓迫スルト云フコトハ是ハ許スベカラザルコトダ、其點ハ多少鐵道大臣ノ只今ノ御意見ト私共ハ考ガ違フヤウデゴザイマスガ、ドウモ私ノ申上ゲマスコト、詰リ國ガ民業ニ依ッテ影響ヲ受ケル場合ハ是ハソレデ宜イ、反對ニ民業ヲ國ガ壓迫スル場合ニハ考ヘナケレバナラスト云フコトヲ、私ガ考ヘテ居ルト云フコトヲモ一ツ御記憶ヲ戴キタイト思ヒマ

ス

○風間八左衛門君 之ニ關聯シテ極ク簡單ナ事ナンデスカラ、是ハ政府委員カラ御答辯ヲ願ッテ宜イト思ヒマス、此自動車ニ關係イタシマシテ、チョット政府委員カラ御答辯ヲ得テ結構デアリマス、此九年度以後ノ實施ノ表ヲ見マスト、既定線及豫定線以外ノ、建設線ニ關係ナイ區間デアリマスガ、大體此既定線、豫定線ニ、省營ノ「バス」ヲヤラレマスコトハ結構デアリマスガ、此關係以外ノ

モノハ成ルベク國デ「バス」ノ營業ヲ爲サラナイヤウニシテ戴キタイト云フヤウナ風ニ、今日迄ノ此鐵道ノ委員會デアリマシタカ、自動車ノ時ノ委員會デアリマシタカソレガアリマシタガ、併シ是ハ運輸系絡上ノ關係上オヤリニナルコトデ、先程秋元子爵カラ御質問ノ時ニモ御答辯ニナツタ時ニ、大體了解イタシテ居リマスガ、此間ニ於テ矢張り民業ノ「バス」ガアリマスノデ、之ニ對シテ賠償サレ、見舞金ヲサレルヤウナコトモ御考ヘニナツテ居ルコトモ聞イテ居リマス、併シ此間ノ營業ニ付キマシテハ、現在民業デヤッテ居リマスモノヨリモ、國即チ省營「バス」ガ動キマス爲ニ、賃金ハ民營ヨリモ高クナルト云フヤウナ所ハゴザイマセヌデセウカ

○政府委員(日淺寬君) 私カラ御答ヘ申上ゲマス、運賃ノ關係ハ個々ノ場合起ル問題デアルノデゴザイマスガ、是ハ必ず有ルト云フ風ニ申上ゲル譯デモゴザイマセヌガ、例ヘバ省ノ自動車ガ其處ヘ運轉シサウダト云フコトヲ豫想シマシテ、從來ヤッテ居タ運賃ヲ下ゲ、營業ヲスルト云フヤウナ所モ全然無イ譯デモナイ、ソレデアリマスルカラサウ云フ場合ニハ非常ニ民間ノ自動車ガ、詰リ省ガ實施スル時ヲ見マスト、非常ニ民間ノ方ガ安イト云フヤウナ場合ガ起キルコトガナイトモ云ヘナイノデアリマスガ、大體ト致シマシテハ省ノ運賃ハ一定サセマシテ、ソレニ依ッテ實施イタシマシス爲ニ、幾ラカ高クナルト云フヤウナ場合ガ全然生ジナイト云フ譯ニハ行カナイノデアリマシテ、併ナガラ非常ニ場合ニ依リマシテ省ノ方ガ高クナルト云フヤウナ事ガ出テ來ルコトモアルモノデアリマスガ、サウ云フ場合ニハ之ヲ調節シマスル方法ヲ執リマシテ、出來ルダケ民間ノモノヨリ高クナルコトヲ少クスル、程度ヲ少クスルト云フ風ニ努メテ居ル譯デアリマスガ、唯一線モ高クナラヌ、ドノ線モ總テ皆民間ノヨリモ全部安イト云フ風ニハ行カナイ場合ガ生ジテ來ルト考ヘテ居リマス

○風間八左衛門君 私ノ手許ヘ、京都カラデアルカラ、請願書ノ寫見タヤウナモノガ來テ居リマス、鐵道省ノ方ニモ或ハ御承知カト思ヒマスガ、之ニ依リマスト京都カラ丹波ノ靜原ト云フ所ヲ行ク線ト思ヒマスガ、此丹波ノ靜原方面ニ達シマスノニ、現在私設「バス」ガ二ツモアル、一日ニ往復三十二回モ運行シテ居リマスガ、國ガ經營シマスト回數モ減ルシ、又國ノ方ハ「キロ」最低二錢五厘トナツテ居ルノデ、現在ノ民營

「バス」ヨリモ料金ハ餘計ニナルト云フコトヲ主ナル理由ニシテ居ルヤウデスガ、私ノ聞イテ居リマス所デハ回数モ減ラナイシ、料金モ高クナラナイノダト聞イテ居ル、ドウモ此書面ヲ見マシテモ、私ノ耳ニシテ居ル所ト違ヒマスガ、大體御調ベニナッテ居リマセウガ、分ッテ居リマシタラ概略ヲ仰シヤッテ戴キタイ

○政府委員(日淺寛君) 此線路ニ付キマシテハ、マダ具體的ニ決定ヲシテ居リマセヌノデ、此處デハッキリ申上ゲル所マデ行ッテ居リマセヌガ、サウ云ッテ場所ガアルノデアリマス、其處ノ場所ハ今申上ゲタヤウナ次第デドノ程度ニドウナルカト云フコトハマダ申上ゲル程度ニハナッテ居リマセヌガ、大體サウ云フ場合ガアルト申上ゲルノハ、或一ツノ村ナラ村、町ナラ町トシマス、從來民營デヤッテ居リマスノハ例ヘバ町ガ假ニ「キロ」ノ長サガアリマシテモ、民營デヤッテ居ルノハ其運賃ノ刻ミノ巾ガ廣イノデ、例ヘバ何處町ト言ヒマス、其入口マデデモ、又町ノ反對ノ端マデデモ大抵同ジ運賃デヤッテ居リマス、ソレヲ省ハ矢張り「キロ」ヲ設定イタシテ、ソレニ依ッテ「キロ」幾ラト云フコトデ加算シテ参リマスカラ、サウ云フ場合ナドニハ現在ヤッテ居ル

民間ノ「バス」ニ比ベテ運賃ノ刻ミガ非常ニ大キナ所デヤッテ居リマスノデ、或ハ手前ノ場所ガ安クナッテモ、其運賃ノ區切ノ一番遠イ所ニナルト省ノ方ガ高クナル、斯ウ言フヤウナコトガ起キルコトモアリマス、色ミナ運賃ノ立前其他ノコトカラサウ云フコトガ起キテ來ルノデアリマスガ、マア大體ト致シマス、從來色ミ統計等デ取りマシタ所デハ民間ノ運賃ヨリハ、省ノ運賃ノ方ガ安イ、是ハ「キロ」當リナドニ付テ見マスレバ無論安イノデアリマスガ、サウ云フ風ニ實際運賃ヲ當

欲メテヤリマス時ニハ、サウ云ッテヤウナ事情其他デ、線路ノ一部又ハ相當廣イ範圍ニ付テ幾ラカ省ノ方ガ僅カ高クナルト云フヤウナ所ガ出來テ参リマス、又一方特殊ノ事情デ民間デゴザイマス、或一定ノ期間ダケ非常ニ安クヤッテ居ル、是ハ交通量ガ多イ爲ニ安クシテモ相當引合フコト云フヤウナ關係カラ、運賃ヲ一率デナク、或期間ダケ特別ニ安イ運賃デヤッテ居ルト云フヤウナ所ガアリマス爲ニ、省ガ一率ノ運賃ヲ其處ニ當欲メマス、其區間ダケハ現在ノ所ヨリモ高クナルト云フコトガ起キテ來マス、場合合ニ依ッテ多少省ノ運賃ノ方ガ高クナルト云フコトガ起キテ來マスケレドモ、從來全體トシテハ民間ノモノヨリモ省ノ方ガ

安イト申上ゲタ方ガ全體論デアリマシテ、極ク例外的ニ或線若クハ或線路ノ或區間ト云フヤウナモノニ付テハドウモ省ノ方ガ幾ラカ高イト云フコトガ起キテ來ルノハ免レナイト思ヒマス

○風間八左衛門君 只今ノ御説明デ大體能ク分ッテデアリマスガ、尙ホ國デ「バス」ヲオヤリニナル場合ハ、成ルベク既定線、豫定線以外ノ所デ已ムヲ得ザルモノノ外ハ御考慮ヲ願ヒ、且ツ「バス」ヲ御實施ニナルニシマシテモ地方民ノ不便ニナラナイヤウニ是迄私設ノ「バス」ガアリマシタ時ヨリモ或ハ往復回数ガ便利ニナリマス、賃銀ノ點モ高クナラナイヤウニ十分御考慮ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス、尙ホ先程御尋イタシマシタ此民營ノ交通機關ニ對シマシテ國ガ交通機關ヲオヤリニナル場合ニ脅威ヲ受ケル點ニ付キマシテハ先程ノ御説明ニ依ッテ鐵道ニ對シテハ御考慮ニナルガ、矢張り民營ノ「バス」ニ對シテハドウモ致方ガナイデハナカラウカト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、是モ程度ノ問題デアリマシテ、非常ニ完全ニ營業シテ居ルヤウナ立派ナ私設「バス」ガアルモノヲ國ノ鐵道ガ延長スル爲ニ全絶スルト云フヤウナ非常ニ氣ノ毒ナモノガアル場合ニハソレヲ國ノ

省營「バス」ニ御變ヘニナルト云フコトデ救済出來ヤウト思ヒマス、其邊ハ唯私ノ希望デアリマスガ、御考慮ヲ下サレタイト云フコトデ私ノ質問ヲ打切りマス

○男爵中村謙一君 今回秋田鐵道ヲ御買入レニナルノデアリマスガ、御買入レニナリマシテモ營業ヲ爲サルニハ相當ノ改良ガ必要グラウト思ヒマスガ、各地方鐵道ニ付テ其改良費ガドノ位要ルカト云フコトヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(喜安健次郎君) 改良工事ノ費額デゴザイマスルガ、秋田鐵道ハ約八十萬圓バカリアリマス、是ハ軌條ノ交換ガ大部分デゴザイマス、今小サイ輕イ「レール」ヲ使ッテ居リマスガ、ソレヲ交換スルノガ大部分デアリマス、ソレカラ其次ノ佐久鐵道ハ二十萬圓バカリアリマスガ、是ハ小サナ諸改良工事ト云フノデ特ニ舉ゲテ御話スル程ノモノデハゴザイマセヌ、ソレカラ新宮鐵道ハ改築費デゴザイマシテ、確カ六十萬圓バカリカカルト思ヒマス、ソレカラ最後ニ篠上鐵道デゴザイマスガ、是モ大體「ボーイント」ヲ替ヘルトカ、停車場構内ノ配線ダトカ、「ホーム」ダトカ、總テノ箇所ヲアッチコッチ工事イタシマスノデ、十九萬圓バカリノ額ニナッテ居リマス、尤モ是ハ直グニハ

要ラナイ金ダサウデゴザイマシテ、順次ニ改良シテ行ケバ宜シイト云フヤウニナツテ居リマスノデ、總額ニ於テ左様ニナツテ居リマス

○男爵中村謙一君 只今承リマシタ改良費ハ順次ニ御入用ダト云フコトデスガ、九年度ニ於テ相當ノ額ヲ御入用デアリマスカドウカ

○政府委員(喜安健次郎君) 九年度ニ於キマシテハ新宮鐵道ハ勿論要リマスガ、其外ノ三ツノ鐵道ニ於キマシテハ改良費ヲ使ヒマスル豫定ニハナツテ居リマス

○男爵中村謙一君 秋田鐵道ニハ未成線ノ毛馬内ト云フノガアルヤウデスガ、是ハドウ始末ナサル御積リデスカ

○政府委員(喜安健次郎君) 是ハ毛馬内・大湯ノ工事施行ヲ認可シタ線デゴザイマスルガ、會社デハソレヲヤラナイサウデアリマス、廢メテ了フ、二千圓餘リ測量費ガ計算シテアルノデアリマスガ、會社デハヤリマセズ、ソレカラ又之ニ付テハモウ補償ノ問題ハ起ラナイヤウニ協定ガ出來テ居リマス

○男爵中村謙一君 ソレカラ此新宮鐵道ハ聯絡建設工事ノ關係カラ御買収ニナルヤウニ承ツノデアリマスガ、先程大臣カラ其必

要ニ付テ一應承リマシタガ、尙モウ少シ詳細ヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(池田嘉六君) 私カラ御説明申上ゲマス、此鐵道ハ只今建設工事ト致シマシテハ、此鐵道ノ終點ト申シマスガ、勝浦ト云フ所カラ田原方面ニ工事中デアリマス、此間ハ割合ニ短區間デハアリマス、勝浦・田原間ハ約十四「キロ」、田原カラ串本マデ十三「キロ」弱デゴザイマスルガ、マダ田原・串本間ハ工事ヲ著手イタシテ居リマセヌガ、此區間ハ短距離デハアリマスルガ、別ニ營業スルト致シマスレバソレニ相應シタ車輛ヤ、機關車庫、檢車臺或ハ給水、給炭ノ設備、營業ヤ保線ニ要スル諸建物等ノ設備ヲ必要トスル次第ニナリマスルカラ、若シ是ガ買収ガ出來レバ是等ノモノハ新宮鐵道ノモノガ大部分流用出來ルコトドラウト思ヒマス、ソレカラ反對側ノ新宮カラ木本方面ニ向ヒマシテハ昨年ノ十一月デシタカ熊野川ノ鐵橋ノ工事ニ掛リマシテ、十一年度マデニハ新宮カラ阿田和マデ營業開始スル計畫ヲ立テテ居リマス、ソレマデニハ新宮鐵道ノ改築ヲ完了イタシマシテ、先程申シマシタ田原方面、出來レバ串本方面カラ一貫シタ運轉ヲ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレカラ第三ニハ新宮・木本間ノ工

事ノ材料ヲ運ビマスノニ、大體現場デ手ニ入レルコトノ出來ナイ材料ノ噸數ヲ凡ソ見込ミマシタ所ガ約八千噸バカリゴザイマス、是ハ總テ船デ勝浦ノ棧橋カラ陸揚シテ、此新宮鐵道ニ依ッテ持ッテ行クヨリ外ゴザイマセヌ、此八千噸ノ中デ九年度ニ運搬ヲ要スル材料ノ主ナルモノハ「セメント」トカ、軌道トカ、架橋材料ト云フヤウナモノデアリマシテ、其重量ガ約五千二百噸バカリゴザイマス、サウ云フヤウナ材料ヲ運バナケレバナリマセヌノデ、是モ若シ買収出來タラバ自分ノ手デ運ブコトガ出來マシテ、非常ニ好都合ダト思ヒマス、先程申上ゲマシタ新宮・阿田和間八木本方面ニ向ッテハ約十四「キロ」デゴザイマス、大體サウ云フヤウナ次第デアリマシテ、獨立シタ營業ヲ開始スル爲ニモ必要デモアリマスシ、又工事ノ材料運搬上ニモ必要デアリマスシ、一貫シタ營業開始シタイ爲ニモ必要ト考ヘマシテ、九年度ニ新宮鐵道買収スルト云フ提案ヲ致シマシタ次第デアリマス

○男爵中村謙一君 新宮鐵道ノ改築工事ハ九年度カラ御掛リノヤウニ拜承シマシタガ、爾後何箇年位デ完了ニナル御豫定ニナツテ居リマスカ

○政府委員(池田嘉六君) 大體此案ガ御協

賛ガ願ヘレバ九年度ノ下半期ニハ改築工事ニハ掛カレルト云フ見込ヲ持チマシテ、或ハソレガ買収其他ノ手續上遅レルカモ知レマセヌガ、假ニ九年度ノ下半期ニ直ガ改築工事ニ著手スルト致シマシテ、十一年度ノ上半期迄ニハ營業開始ガ出來ル迄ニ改築工事ガ出來ル、斯ウ云フ積リデ居リマス

○男爵中村謙一君 是ハ今回ノ此問題ニ關係ハナイノデアリマスガ、昨年四國ノ宇和島・近永間ノアノ私設鐵道買収ニ伴フ改築費ニ關聯シマシテ、近永ト吉野ノ間ノ改築費ヲ建設豫算ニ計上シテト云フ希望ヲ述べテ、大臣ハ御承諾ニナツタヤウナコトニナツテ居リマスガ、今年度御計上ニナラナカッタノデアリマスガ、是ハドウ云フコトニナツテ居リマスカ

○政府委員(池田嘉六君) 御話ノ宇和島・近永間ノ十一年度デナケレバ改築工事ハ終リマセヌ、デ只今御質疑ニナリマシタ近永・吉野間ハ來年度カラ著手シテモ十一年度迄ニ十分改築工事ガ出來上ル見込ガゴザイマスノデ、來年度是ハ提案イタシタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○男爵小畑大太郎君 秋田鐵道デアリマスガ、參考書ヲ頂戴シタモノデ拜見シマス秋田鐵道ノ毛馬内、十和田間ノ乗合自動車

モ買収ニナルヤウデアリマスガ、其後ニ於  
キマシテ十和田湖ニ行キマス「バス」ノ仕事  
ハ省デオヤリニナルノデアリマスガ、ドウ  
ナッテ居リマスカ

○政府委員(喜安健次郎君) 只今御話ノ秋  
田鐵道ノ兼業ノ毛馬内、十和田湖間ノ乗合  
自動車ハ買収イタシマス、實ハ是ハ四頁ノ  
最後ノ表ノ七ト云フ所ニ他事業興業費ト云  
フノハ二百九十三圓トナッテ居リマスガ、  
是ハ自動車ハズツト償却シテシマヒマシテ  
今ハ實際ハヤッテ居リマス、自動車ノ二百  
九十三圓考課狀ニ自動車ノ投下資本ガ残ッ  
テ居ル次第デアリマシテ、名義ダケニナッ  
テ居リマス、買収ハ致シマス

○男爵小畑太郎君 私ハ昨年ノ夏ハ乗ッ  
テ行ッタノデアリマスガ……

○政府委員(喜安健次郎君) 何月頃ノ御話  
カ存ジマセヌガ、今日ハ唯殘ッテ居リマスケレ  
ドモ、事實ヤッテ居ナイノデアリマスガ、或  
ハ其後カモ知レマセヌノデスガ、私共ノ方  
デ調べマシタノハ去年ノ十一月頃ニ會社ノ  
者カラ能ク事情ヲ聽キマシタノデゴザイマ  
スガ、其時ニハ、モウ今日ハ「バス」ヲヤッ  
テ居リマスト云フコトハ申上ゲラレマセヌ  
ト云フ御話デゴザイマシタ

○男爵小畑太郎君 サウシマス、今後

鐵道ヲ買収シタ後ハ、毛馬内ト十和田湖ノ  
聯絡ハドウナサルノデスカ

○政府委員(喜安健次郎君) 實ハ其間ニ於  
キマシテハ、十幾ツカノ「バス」營業者ガゴ  
ザイマスノデ、餘リ完全ナモノデナイモノ  
モゴザイマスルガ、相當大キナ十何人乘リ  
ト云フヤウナ「バス」ヲ使ヒマシテ、自動車ヲ  
使ヒマシテ、營業シテ居ルモノデゴザイマ  
スノデ、差當リソレヲ利用イタシマシテ聯  
絡ノ便ヲ圖ルト云フ積リデゴザイマスルガ、  
マア將來ノアノ地方ノ發展ノ模様ニ依リマシ  
テ、民間ノモノデハ間ニ合ハヌト云フヤウ  
ナ情勢ニデモナッテ参リマスレバ、又他ノ考  
ヲ以テ、適當ナ處置ヲ執ラナケレバナラス  
カトモ考ヘテ居リマス

○委員長(伯爵有馬頼事君) 御質疑ハアリ  
マセヌカ

○青木周三君 私ガ聽カウト思ッタコトハ  
大概中村君、小畑君カラナサイマシタガ、  
モウチヨット伺ヒタイノデスガ、此買収鐵  
道ノ從業員ハドウ云フ風ニ御引繼ギニナリ  
マスカ

○政府委員(喜安健次郎君) 買収鐵道ノ從  
業員ハ現業員デゴザイマスネ、現業員ハ特  
ニ取除カナイ以上ハ鐵道省ニ引繼グト云フ  
コトニ、協定ヲ致シテ居リマス、デ從來ノ

例カラ見マシテモ、殆ド例外ナシニ現業員  
ハ全部引繼イデ居リマス

○青木周三君 其場合ノ資格等ニ付テ何等  
カノ勅令トカ、何トカラ要スルコトハナイ  
ノデスカ

○政府委員(喜安健次郎君) 從來、從來ト  
申シマシテモ、茲十四五年ノ間ニ於キマシ  
テ、買収シマシタ例カラ申シマスルト、特  
ニ其資格ニ付テハ勅令デ、特例ヲ設ケナケ  
レバナラスト云フヤウナ場合ニブツカッタ  
コトハゴザイマセヌ、唯是ハ現業員ト云ッテ  
宜シイノデスガ、唯或會社ノ専門家デゴザ  
イマシタノデスカ、ソレヲ引繼イダ方宜  
シカラウト云フコトデ引繼ギマシタ時ニハ、  
囑託ト云フ名義デ二三年仕事ラシテ貰ッ  
タ例ヲ記憶シテ居リマスルガ、其外ハ大抵勅  
令ヲ必要トシナイデ始末ガ付クヤウデゴザ  
イマス

○青木周三君 能ク分リマシタ、ソレデ私  
モ此未成線ニ付テ伺ヒタイト思ッタノデシ  
タガ、大部分分リマシタガ、此未成線ト云フ  
モノハ、會社ハ非常ナ勢デ以テ是ハ出願シ  
タノデシタガ、今デハヤラスト云フコトニ  
ナッテ居ルト云フ話デスガ、鐵道省ハ之ヲヤ  
ラスナラヌヤウナ地方的ノ義務ト云フ程デ  
ナクテモ、義理合ト云フヤウナモノニナッテ

居ルヤウナコトハナイノデスカ

○政府委員(喜安健次郎君) 只今御話ノ地  
方的ノ義理合ト云フ御心持ガ實ハ私能ク分  
リマセヌデゴザイマスルガ、此線ハ敷設法  
ノ豫定線ニ當ッテ居リマスルノデ、確カ昭和  
五年デゴザイマシタカノ幕ニ、鐵道會議ニ  
諮詢シテ免許シタ線デゴザイマス、其當時  
ハ會社モマダ今日ホド自動車ガ發達シテ居  
ナカッタモノデスカ、十和田ヘ行ク途中マ  
デ、殊ニ大湯ト云フ有名ナ溫泉モアルシ、  
ヤレバ相當ウマク行クト云フ積リデアッタ  
ノデハナイカト思フノデゴザイマスガ、其  
後自動車モ段々發達シテ参リマシテ、果シ  
テ大キナ金ヲ掛ケテヤリマシテモ、ヤレル  
カドウカト云フコトニ付テ多少ノ疑ヲ持ッ  
ヤウニナッタノデハナイカト思フノデアリ  
マス、デ殊ニ此線ニ付キマシテハ會社ガ勿  
論ヤル段ニナリマス、増資ナリ、資本増  
加ナリ、何カヤラナケレバナリマセヌガ、又  
資本増加ヲヤリマスレバ、恐ラク此沿線ノ  
方面カラ株ヲ募ルト云フコトガ從來ノ例デ  
ゴザイマスカラ、サウ云フコトガアツタカ  
モ知レマセヌガ、マダ資本増加ト云フ舉ニ  
モ出テ居リマセヌ、其地方ニ對シテ會社ト  
シテハ別ニ義理合ト云フヤウナコトハナイ  
ノデアラウト、是ハ私ノ推測デゴザイマス

ガ、サウ云フ風ニ思ハレマス

○青木周三君 私ノ記憶スル所デハ、此未成線ハ會社ノ社内積立金見タウナモノガアルカラ、ソレデヤルト云フコトデ出願ヲシテ、鐵道會議デモサウ云フ意味デ之ヲ許シタウニ考ヘル、之ガ豫定線ニ當ッテ、會社ガ豫定シタルト云フコトニナッテ居ッタノヲ鐵道省ガ買収シタノデアルカラ、其ヤル意思ヲ引繼イデヤラナイト地方ノ怨嗟ヲ買フコトガアルノデナイカト云フ意味デス、サウ云フコトハアリマセヌカ

○政村委員(喜安健次郎君) 是ハ丁度幾ラ掛カリマスルカ、チヨット記憶ガゴザイマセヌデスガ、七「キロ」三分デゴザイマスカラ、マア「一」キロ「十」萬圓トシテ七十萬圓バカリ掛カル譯デアリマスガ、會社ノ法定積立金ハ五萬六千圓ヨリゴザイマセヌ、外ニ特別ノ何モゴザイマセヌシ、殊ニ此會社ハ六十五萬圓ト云フ財團ヲ擔保トシテ借入金ガアル位デアリマスカラ、若シ之ヲヤルト云フコトニナリマス、多分借入金カ資本増加ヲシナケレバ、資金ノ調達ハ出来ナイノデナイカト思ヒマス、只今青木サンノ仰セニナリマシタヤウナ事柄ニ付キマシテハ、私會社ノ人カラモ何モ承ッテ居リマセヌデスカラ、サウ云フコトハナイデアラウト思ヒ

マス、ト申シマスノハ、是ハ協定ヲ致シマス際ニ、特ニ毛馬内、大湯間ノ線ニ付テハ補償ヲシナイガ、ト云フコトヲ話ヲ致シマシテ、長イ十二三箇條ノ協定書ハ條文デスカラ、見逃シテハ困ルト思ヒマシテ、私特ニ説明イタシマシテ、意識サシテ話ヲ致シマシタラ、是ハ已ムヲ得マセヌト、斯ウ申シテ居リマシタカラ、サウ云フ事情ハナイノダラウト推測シテ居リマス

○青木周三君 私ソレハソレデ満足イタシマシタ、尙ホ自動車ノコトデ少シ伺ヒタイノデスガ鐵道省及ビ陸軍省ガ一緒ニナッテ、國產自動車ト云フモノニ對シテ、熱心ニ國產自動車ノ製作ヲ獎勵シタコトガアリマシタノデ、恐ラクハ現今デモ鐵道省デハサウ云フ風ナ御考デアラウト思ヒマス、陸軍省ハ勿論補助金サヘ與ヘテヤッテ居ル位デスカラ、サウデアラウト思ヒマスガ、無論國產自動車ハ普通ノ乗用車ハイケナイコトハ是ハモウ殆ド明カナコトデ、先ヅ最初ニ著手スルモノハ乗合自動車ノ車體及ビ貨物自動車デナクチャナラスト思ヒマス、現在ニ於テハ陸軍ガ補助金ヲ與ヘテ居ル、ソレカラ鐵道省ガサウ云フ意味デ鐵道省デ使フ乗合自動車ハ國產自動車ヲ多ク御使ヒニナッテ居ルヤウニ考ヘテ居リマスガ、此コト

ハモウ少シ徹底シテ保護セラレルナラバ、今斯ウ云フ風ナ目的ニ使フ自動車ハ國產ガ十分ヤッテ行ケルト云フ見込ガ殆ド立ッテ居ルヤウニ思ヒマス、此際鐵道省ハ此民間ノ乗合自動車ノ或「パーセンテージ」ヲ定メテ、ソレダケハ國產自動車ヲ使ハザルベカラズト云フヤウナ規則ナリ、或ハサウ云フ付帶命令書ナリト云フヤウナモノヲ出スカ、或ハソレガ法律ナシニ出来スト云フコトナラバ、サウ云フ法律ヲ制定スルトカ云フヤウナ御考ハアリマセヌノデセウカ、是ハ私大事ナコトデ、大事デアルト同時ニ非常ニ效果的ナコトダト思フ、私共ハ祕カニサウ云フコトヲシタナラバドウカト云フコトヲ考ヘテ居ッタノデスガ、如何デセウカ

○國務大臣(三土忠造君) 鐵道省デ「バス」經營ニ要スル自動車ハ全部國產ヲ以テヤッテ居ルノデアリマス、是ハサウ云フ方針デヤッテ居リマスルシ、事實ニ於テ爲替安ノ爲ニ外國品ガ高クナッテ居ルヤウナコトモ一ツノ原因デアリマスシ、近頃自動車工業ガ非常ニ進歩シテ參リマシタノデ相當立派ナモノガ出来マスカラ全部國内品ヲ用ヒテ居ルノデアリマス、併シ私設鐵道ナドニ向ッテ國内品ヲ用ヒヨト云フコトヲ法規ニ依ッテ強制スルコトハ是ハドウカト思ヒマス、

元來國產獎勵ト云フ方ノ意味カラ申シマス、國產獎勵ト云フコトハ高クテモ惡クテモ愛國心ニ懇ヘテ國内品ヲ使ヘト云フ意味ハ私ハ無理デハナイカト思ヒマス、或特殊ノ國際貸借ノ改善トカ、或ハ特殊ノ意味カラ外國ニ對抗政策ヲ採ルトカ云フヤウナ場合ニハ仕方アリマセヌケレドモ大體論トシテ兎ニ角國產獎勵ト云フコトハ同ジモノ、若シクハ同ジ相場ノモノデトカ、或ハ少々此方ガ惡イトカ、少々高イ位ノモノハ出来ルダケ御互ニ國產品ヲ使ハウデヤナイカト云フ程度迄ハ宜シウゴザイマスケレドモ價格ノ點、ソレカラ品質ノ點ニ於テ向フガ勝ッテ居ルモノヲ法律デ強制シテ外國品ヲ使ハサヌヤウニ、國内品ヲ使フヤウニスルト云フコトハ大體論トシテハ少シ無理デヤナイカト思ヒマス、併シ今ノ所ノ模様デハ實際問題トシテ爲替相場ヤ色ミノ關係デ以テ一段ニ國内品ガ普及シテ行クト思ヒマス、民間ノ自動車會社デモ「バス」ナドハ殆ド國内品ヲ使用スルコトニナッテ來ルト思ヒマス

○青木周三君 鐵道大臣ノ仰シヤル所ハ至極尤デアリマスガ、併シ近來ハ各國ガ非常ニ自國產業ヲ保護シテ居ル際デアリマシテ、是ハ餘リ效果的デハナカッタト思ヒマシマス、ズット昔ニ製鐵所ノ「ルール」

ガマダ出来始メタトキニ鐵道省ノ監督局ガ

私設鐵道ニハ公ノ付帶命令デハナカッタ

ンデアラウト思ヒマスケレドモ、國產ノ

「レール」ヲ使フコトヲ殆ド命ジタコトガアル

ト思ヒマス、サウ云フコトガ製鐵所ノ「レール」ノ發達ニナツタトハ今デモ考ヘテ居リマ

セヌケレドモガ、併シサウ云フ意氣込ミデ

民間ノ人モ官廳ノ行政モサウ云フ意氣込ミ

デヤツタト云フコトガ現在ノ製鐵事業ガス

ウ云フ發達ヲ遂ゲタングト思ヒマス、多少

ハ勿論大臣ノ言ハレル通りニ無理デハアラ

ウト思ヒマスケレドモ、或ハ三分ノ一トカ

五分ノ一ト云フヤウナ自動車ハ國產品ヲ

持ツテ居レト云フヤウナコトハ大抵國際情

誼ニ背ク譯デモナイシ、而モソレハ非常ニ

效果的ナモノダト思フ、是ハ唯私ノ抱懷シ

テ居ル考ヘヲ述ベルダケデアアルノデスガ、

サウ云フコトヲ御考ヘ下サルト云フト此事

業ハ忽チニシテ進歩シテ行クヤウニ考ヘテ

居ルカラ今ノコトヲ伺ツタ譯デアリマス、

尙ホ併シ此コトハ御考ヘニ依ツテヤツテ戴ク

ト非常ニ宜イト思フガ、敢テ此上ノ御答辯

ヲ御願ヒスル譯デアリマセヌ、是デ私ハ此

問題ニ關スル質問ハ殆ド終リシマシタノデ

スガ、此問題ニ直接ノ關係ヲ持ツテ居ルコ

トデアリマセヌガ、或機會ガアツタラバ討

論終結前ニ御許シヲ願ヒタイ

○委員長(伯爵有馬頼寧君) 他ニモ御質問

ガアルト思ヒマスガ、成ル可ク此案ニ直接

關係ガアルコトヲ先ニ致シマシテ、ソレガ

濟ンダラバ關聯シタ外ノ問題ヲ聞イテ戴キ

タイト思ヒマス、何カ此出マシタモノニ付

テ直接ノ御尋ネノコトガアリマシタラドウ

ゾ御質疑ヲ願ヒマス

○男爵辻太郎君 新宮鐵道ノ買収セラレテ

カラシテ、建設線ハ勝浦カラ串本ヘ向ツテ、

ソレカラモウ一ツハ新宮カラ木ノ本、此建

設線ヲ御進メニナルヤウナ御話デシタガ、

是ハ結構ト思ヒマスガ、田邊ト串本ト間

ハ是ハドウナリマスデセウカ、是ハ難工事

ノ極クヒドイ所デゴザイマスガ、是ハドウ

ナリマスカ

○政府委員(池田嘉六君) 田邊方面カラ現

在富田、ソレカラ日置方面マデ工事中デゴ

ザイマスガ、ソレカラ先ハ可ナリエライ所

デアリマス、昭和十三年度迄ニハ串本迄開

業シタイト云フ計畫デ以テ昨年ノ議會ニ豫

豫ノ御協賛ヲ願ツテゴザイマスガ、昭和十

三年度ニ……或ハ下半年期ニナルカ知リマセ

ヌガ、其頃迄ニ串本迄開業シテシマヒタ

イ、斯ウ云フ考ヘヲ有ツテ居リマス

ラノ木ノ本・尾鷲ノ間モ是モ難工事ノ所デ

スガ、是モ矢張り手ハ御著ケニナツテオ出

デトハ思ヒマスガ、ソレハドウデスカ

○政府委員(池田嘉六君) 御話ノヤウニ串

本方面ヨリモモウ一層難工事デアリマス、

此區間ノ全通ガ紀勢全線ノ全通ヲ抑ヘル所

ガラウト思ヒマスガ、昭和十六年度迄ニ完

成シタイト云フ計畫ヲ有ツテ居リマス

○青木周三君 チョット關聯シタコトデア

リマスガ、富田ト串本ノ間ハドノ位距離ガ

アルノデスカ

○政府委員(池田嘉六君) 約五十「キロ」バ

カリデゴザイマス

○大島健一君 之ニ直接ノ問題デアリマセ

ヌガ、只今青木君カラ直接ノ御注意ガアッ

タコトデアリマスガ、一言モウ少シ細カニ

伺ヒタイト思フノデアリマス、ソレハ自動

車「バス」ノ構造ニ付テノ御話デゴザイマシ

タガ、此自動車道ハ、人バカリデナシニ、

貨物ヲ取扱ヒマシテ、ソレニハ大キナ「ト

ラック」デモ交通スルト云フヤウナ點モアリ

マスガ、大體ハ「バス」ノ交通、鐵道ノ交通

ヲ補フ點ハ此總テノ問題ガ皆人バカリデゴ

ザイマスガ、ドウ云フ模様ニナツテ居リマ

スカ、荷物ヲ運ブト云フコトニ付テハ……

ハ、荷物旅客雙方扱ツテ居リマス、唯此所

デモ大臣ガ申上ゲタカト思ヒマスガ、實際

上カラ言ヒマス、道ガ良クナリマス

民間ノ「トラック」ガ非常ニ活動イタシマス、

爲ニ、實績ハ貨物ノ方ハ原則ト致シマシ

テハ、サウ擧ツテ居リマセヌデス、併シ線路

ニ依リマシテハ、相當貨物ハ運ンデ居ルト

思ヒマス、實績ハサウ云フ譯デゴザイマス

ケレドモ、立前ト致シテハ兩方トモ設備

イタシマシテ、勿論營業シテ居ル譯デゴザ

イマス

○大島健一君 今青木君モ仰シヤツタ陸軍

ノ方ニ補助シテ居ル、アレハ大正六年ノ暮

ニ私ガ在職中ニ出シテ幸ヒ兩院ヲ通りマシ

テ、今日マデ尙ホ實行シテ居ルノデアリマ

スガ、其當時カラ或ハマア買フ時ニ幾ラカ

金ヲヤル、持ツテ居ル時ニ幾ラカ補助シテヤ

ルト云フ立前ヲ取ツタノデアリマシテ、當時

ハマダナカノ、或ハ發動機ナドハ安クハ出

來ナイカラ、日本品ト云フヤウナコトハ希

望シテモ何等得ラレナカッタノデアリマス

ガ、今日ハモウ「トラック」ハ大概日本デ出

來マセウシ、普通「バス」モ出來ル、又大キ

ナ貨物輸送「バス」用ノモノモ出來ルデアリ

マセウカラ、ナンボハ矢張り國產ヲ使ヘト

マスガ、此數萬ノ日本ノ自動車ガ皆輸入物品バカリデヤツテ居ルト云フヤウナコトハ、如何ニモ殘念デアル、免ニ角機械工業ノ大規模ノモノガ進マヌケレバ、是デハ何時マデ經ツテモ、此日本ノ自動車ナント云フモノハ出来ハシテモ高イカラ賣レナイ、造ラナイト云フコトデ、始終外國カラ買フノミデアリマス、折角單簡ナ「トラック」「バス」ト云フヤウナモノガ出来ルヤウニナリマス、ソレヲ矢張り何分カハ義務トシテ持タセルヤウニスレバ自然發達シマス、幾ラカ政府ガ補助セヌケレバ、製造ノ上ニモ發達ガ出来ヌノグラウト思フノデアリマス、アノ當時ハ唯ツコトヲ獎勵シタ、軍用自動車ト云ツタカ、獎勵法ヲ作ツタ時ニハ……今日ハ日本デ造ルト云フコトヲモウ獎勵スルト云フ考ガナケレバ、迎モドウモ歐羅巴ノアノ機械工場ノ大規模ナモノデ、一日ニ何百臺ト云フモノヲ一人カ二人附イテ居レバ、ドン／＼／＼出来テ行クト云フヤウナ譯デヤツテ居ルモノト對抗スルコトハ出来ナイト思フノデアリマス、矢張り幾ラカ政府ガ獎勵スルトカ、今ノヤウニナンボダケハ用ヒロト云フヤウナコトニシテ、用ヒル者ニハ幾ラカ補助スルト云フヤウナ方法ヲ將來立テヌト、未來永劫貨車

モ、「バス」ノ良イノモ、自動車ハ無論ノコト、皆ナ外國カラ買ハナケレバナラヌヤウナコトニナルト思ヒマス、ドウカサウ云フヤウナ將來ニ對シ、獨立シテ必要ナ缺クベカラザルモノガ日本ニ出来ルヤウニ獎勵ヲ兼ネテ行ケルヤウナ趣意ヲ含メタモノヲ國家ガ始メテ貰ヒタイト私ハ思フノデアリマス、サウ云フヤウナコトハ出来ヌモノデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、今日只今ト云ツテモ無論豫算モ何モノイノデアリマスカラ、行カナイノデアリマスガ、殊ニ此車ノ關係ガアリマスノデ、鐵道大臣ノ御考ヲ聽キタイノデアリマス

○國務大臣(三土忠造君) 私ハ鐵道大臣トシテデナク、前カラ此新興工業ノ助長發達ニ付キマシテハ相當注意ヲ拂ツテ居ル一人デアリマス、自動車工業ニ付キマシテハ、一番率先シテ陸軍ガ補助費ヲ要求シテ、補助ヲヤツテ段々ニ發達シタノデアリマスガ、昨今ノ狀況デハ先刻申ス通り爲替安ト云フコトガ一ツト、ソレカラ内地ノ需要ガ増シテ來タト云フコトガ一ツト、ソレカラ内地ノ工業ガ進歩シタト云フコトガ一ツト、斯ウ云ウ結果トシテ事實ニ於テモ「トラック」トカ、「バス」ト云フヤウナモノサウ云フモノハ殆ど外國ノ物ハ來テ居リマセヌ、内地品

バカリニナツテ居リマス、唯此自家用自動車トカ「ハイヤー」トカ云フヤウナ物、ソレハマダイカヌノデアリマス、是ハ誰ニドウ使ヘト云フコトヲ命令スル譯ニ行キマセヌカラ、關稅ニ依ツテ保護スルヨリ外ナイ、マア相當關稅デ保護ヲ致シテ居リマスカラシテ、段々ニ發達シテ行クト思ヒマスガ、先達テモ專門家ノ意見ヲ聞キマスト云フト、今此自動車ガチヨット十萬臺アル、先ヅ五箇年平均デ消耗シテシマフ、サウスルト十萬ノヤツニスルト、其交換ダケガ二萬臺、詰リ毎年出來ル、是ガ五十萬臺デアリマスレバ、十萬臺ヅツ毎年新シイ物ヲ造ラナクテハナラヌ、補充ダケデ……新規ノ用途ノ擴張ハ別ニシテソレダケ要ル、十萬臺ヲ毎年新シク造ラシテ賣レルヤウニスレバ、ソレト共ニ多少輸出モ出來テ來ルカラ大丈夫、ソレマデガ今使ヒ所ダ、斯ウ申シテ居リマシタガ、各方面トモ「ハイヤー」トカ自家用ニ付キマシテハ、餘程今研究シテ居ルヤウデアリマス、國家ノ權力デ以テ立入ルト云フコトハ今ノ國ガ使フモノ、即チ「バス」トカ「バス」ト一諸ニ使フ「トラック」、ソレカラ民間ノ自動車ヲ許シマス場合ニサウ云フモノハ國製品ヲ使ヘト云フノデアリマスガ、ソレハマアサウ云フコトヲセズシテ今行ナッ

テ居リマス、若シ將來爲替等ノ關係其他ニ依リ、向フガ「ダンピング」デ來ルトカト云フヤウナコトガ起リマスレバ、對抗策ヲ講ジナケレバナラヌガ、サウ云フコトガ無イ限り、今ノ儘デサウ云フコトデ行クト思ヒマス、個人々々自由ニ買入レルモノニ付キマシテハ、關稅政策デ保護シテ行クト云フヨリ外ニナイノデアリマス、大體今ノ所デハ順調ニ行クト私ハ認メテ居リマス

○青木周三君 私モ關聯シテ、モウ少シ序ニ言ウテ置キタイノデスガ、今大臣ガ言ハレタ通りニ、現在ハ年々「二萬臺位」「トラック」及ビ「バス」ノ新製品ガ要ルコト思フ、先年陸軍及ビ鐵道省ガ主唱トナツテ、國內自動車工業ノ發達ニ付テ、色々民間ノ知識等ヲ集メテ相談シタ時ニ、色々ノ表ヲ作りマシタガ、結局二萬臺ヅツ内地ノ需要ガアルヤウニナツタラ自動車工業ハ何トカヤツテ行ケル、斯ウ云フ結論ヲ得タ、今ハ丁度其時期ニ至ツテ居ルノダト思フノデスガ、尤モ其時ハ鐵道省ト陸軍省ガ主唱ニナツテ内地ノ自動車會社ヲ統一シテ、内地デハ一ツノ會社ニシテ、サウシテ一ツノ型ヲ作ツテ、サウシテソレガ二萬臺ヅツ賣レルヤウニナレバカナリ後ハ樂ダ、斯ウ云フコトデアツタガ、現在ノ狀態トシテハ其統制ガ破レタヤウナ調子

デアルカラシテ、尙ホ多少苦シイカモ知レ  
マセヌガ、私ハ鐵道省ガ免許ヲスル際ニ、  
凡ソ二割トカ一割トカハ國產ヲ持タナケレ  
バ免許セヌゾト云フ位ノコトハヤッテモ差  
支ヘナイト思フノデスガ、ソレデ私ハ實ハ  
自動車交通事業法ガ出來テ實行サレルヤウ  
ニナツタラ、ソシナコトモ試ミテハドウカシ  
ラト私ハ腹ノ中デ考ヘテ居ル、ソレデ今日  
斯ウ云フコトヲ言フヤウニナツタノデスガ、  
尙ホ是ハ今日ノ問題デモアリマスマイガ、  
特ニ鐵道省デモ御考ヲ願ヒタイト思ヒマ  
ス

○大島健一君 本問題ニ付テハ私ハ餘リ長  
長ト辯ジタクナイノデアリマスガ、大臣ノ  
自動車ノ將來ノ發達ニ對スル御考慮ハ能ク  
明瞭ニ拜聽シマシタ、是ハ五十萬臺ニナル  
ノヲ希望シマスガ、ナカ／＼時日ヲ要スル  
ト思フノデアリマスカラ、今青木君カラモ  
御話ノアリマシタ通りニ、少シ壓制的ナヤ  
リ方ニ致シテヤッテ行ッテモ、サウ別ニ差支  
ナイト思フノデアリマス、此機械工業其モ  
ノハ今日ハ日本デモ殆ド西洋ニ譲ラヌヤウ  
ニ進歩シマシタケレドモ、サテ此精巧ナ工  
業ヲ、之ヲ實際物ニ造リ上ゲテ賣ラウト云  
フノニハ矢張り高イモノニナル、ト云フノ  
ガ大キナ工業ガ出來ナイカラデアリマス、

機械ノ力ヲ藉ラズニ、個々ノ人ヲ使ッテ、小  
規模ノ機械デヤルト云フコトニナルカラ矢  
張りエライ高イモノニナル、ドウシテモ大  
規模ノモノデ機械ノ力デ以テヤラナケレバ  
ナラヌ、人ノ手ヲ藉リズニヤルト云フコト  
ニスルノニハ、今青木君ノ御話ニナルヤウ  
ニ、一個ノモノニシテシマツテ、其會社デ  
造ッタモノヲ是非用ヒサセルト云フヤウナ  
方法ヲ執ラスケレバナラスト思フ、ソレハ  
初メノ頃ハサウデハナカッタガ、今日デハ  
マア高イ關稅ガカカッテ居ルヤウデアリマ  
スケレドモ、外國品ノ自動車ト比ベタラ實  
ニ高イモノニナル、サウ云フ事業ノ獎勵ハ暫  
クハドウモ國家ガ國益ノ爲ニ保護シテ補助  
シテ行カナケレバナラスト思フノデアリマ  
ス、ソレデ年々此自動車ノ買入レノ爲ニド  
レダケノ金ガ海外ニ出マスカ、私ハ統計ヲ  
見テ參ッテ居リマセヌカラ知りマセヌガ、  
定メテ莫大ナモノガ出タモノデアラウト思  
フ、是等ハ能ク鐵道省ノ方デ、識者ノ手ノ  
揃ッタ所デ能ク調ベラレテ、ドレダケノ獎  
勵ヲシテモ、十年間之ヲヤレバ斯ウ云フ風  
ナ國益ニナル、ダカラサウ云フコトニ付テ  
必ズ斷行ハ出來ルコトと思ヒマスカラ、ド  
ウカ一ツ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵有馬頼寧君) 秋田鐵道外三  
線以外ノ播電鐵道ノ方ニ付テモ御質問ガゴ  
ザイマシタナラバドウゾ御願ヒ致シマス  
○子爵秋元春朝君 私ハ此播電鐵道ノ補償  
ノ方ニ付テチヨット御伺ヒ致シテ見タイト  
思ヒマス、此提案ノ理由ヲ承リマス、新  
宮カラ網干港ニ至ル此鐵道全部ニ對シテノ  
御方針ノヤウニ見エマスノデスガ、新宮ト  
龍野町マデハ省線ト竝行シテ行ッテ居ルヤ  
ウニ思ヒマスガ、龍野町カラノ線ガ網干港  
「クロッス」シテ、尙ホ又網干港ニ行ッテ居  
ル、之ニハ何等影響ガ無イヤウニ考ヘマス  
ガ、是マデモ引ッ括メテ補償ナサラナケレ  
バナラスト云フ御理由ガチヨット分ラヌノ  
デアリマスガ、此點ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタ  
イト思ヒマス

○國務大臣(三土忠造君) 先刻モ提案ノ理  
由ヲ説明申上ゲル際ニ申上ゲマシタノデア  
リマスガ、チヨット考ヘマスト云フト、龍  
野カラ網干港マデハ、是ハ何ノ影響モ受ケ  
テ居ラヌヤウニ見エマスルガ、此竝行ノ部  
分ガ出來テ、サウシテ姫津線ノ姫路ニ通ズ  
ルヤウニナリマシタ爲ニ、乗ッカッテ來マ  
スルモノハ殆ド此姫路ノ姫津線ヲ通ッ  
テ京阪神ノ方ニ向ッテ行クヤウナコトニ  
ナツテ居ッテ、此竝行線ナラザル部分モ  
ズット收益ガ減ッテ來タノデ、是ダケ切離

シテ營業ヲ繼續シテ行クコトハ出來ナク  
ナツテ來タノデアリマス、ソレデ已ム  
ヲ得ズ竝行線ノ部分ト同時ニ是モ買收  
シテヤラザルヲ得ナイト云フコトニナツ  
ノデアリマス  
○子爵秋元春朝君 一應御尤ノヤウニ拜聽  
イタシマスルガ、私ハ之ヲ見テ、別ニ之ヲ  
補償ナサラナクテモ、現ニ此鐵道ハ四呎八  
吋ノ廣イ軌道ノ鐵道デアルカラ、其處ヲ自  
動車ヲ通ジマスストカ、「トラック」ヲ通ジマ  
ストカト云フヤウナコトニ致シテ、此處デ  
ハ龍野町カラ網干港マデノ間ヲ自動車營業ヲ  
スルト同時ニ、又「トラック」ヲ使ヒマシテ  
旅客貨物ノ輸送ヲスルトカ云フコトニナレ  
バ、網干港アタリノ荷物ナドガ態ニ姫路ノ  
方ヲ廻ッテ此新宮ノ方ニ行カズトモ、斯ウ  
云フ簡易ナ方法デ行ケバ、先ヅ龍野マデ達  
シテ後ハ龍野カラ向フヘ輸送ガ出來ル、旅  
客ハ勿論ノコト、貨物モ輸送ガ出來ル、サ  
ウ云フヤウナコトニシテ、鐵道省ノ方デ此  
自動車ヲ營業シテ行ケバ、「レール」ヲ引ッ  
剝ガシテ置イテモ、此處ニ省營自動車デ以  
テヤッテ行クナラバ是等ノコトハ十分行ケ  
ルヤウニモ素人考ヘガ致スノデスガ、其點  
ハ多少御考慮ニナリマシタノデスカ、其點  
ヲ伺ヒタイ

○政府委員(喜安健次郎君) 只今大臣カラ

申上ゲマシタ如ク、竝行シテ居ル新宮ト龍野ノ間バカリデハナイノデアリマス、實ハ此鐵道ノ御客ニ付テ申シマス、龍野及ビ新宮カラ網干ノ驛ニ行キマスル御客ノ七割マデハ省線ニ取ラレテシマヒマシタ、ト申シマスノハ、大體ニ此地方ノ商取引ハ、姫路又ハ京阪方面デゴザイマスカラ、網干ニ出テ來マシタ御客ガ全部ト言ッテモ宜イ位東ノ方ニ行ッテ居リマス、ソレガ姫路ノ方ノ近道ガ出來タノデアリマスカラ、ソレニ據ルヤウニナリマシタ、ソレカラ只今御話ノ網干港カラ上ツタモノガ龍野ノ驛ニ來テ、省線デ行ケバ宜イト云フ御話ノヤウニ承リマシタノデスガ、實ハ網干港ヘ入リマスル荷物、詰リ入港スル荷物ハ、此鐵道ヲ割合利用シテ居ナイ譯ナンデス、寧ロ出ルモノハ、多クハ龍野ノ醬油デゴザイマスガ、龍野ノ醬油ガ網干港ヘ出マシテ、船デ從來京阪方面ヘ參ッテ居リマシタ、此營業ハ多年ノ商取引ノ關係カラ致シマシテ、マダ醬油ノ省線ニ移リマスル割合ハ少イノデゴザイマスケレドモ、ドウモサウ長ク今日ノ狀況ハ持續スルコトハ出來ナイノデ、結局網干港ヘ出テ居リマス醬油モ、省線ニ大部分據ルヤウニナッテ來ルガラウト思ハレル、ソ

レカラモウ一ツ龍野ト網干港ノ間ダケナラバ、電車ヲヤッテモ立行クノデナイカト云フ御疑念デゴザイマスルガ、是ハ先程大臣カラ劈頭ニ御説明申上ゲマシタ如ク、新宮・龍野間ヲ止メマシテ、其殘タ龍野ト網干港間ダケ營業スルト致シマシテ、其場合ノ收支ヲ豫想シテ見マシタノデスガ、一分ニシカナラナイ、建設費ニ對スル利廻リガ……、而モ其一分ト云フノハ、將來段殖ヘルベキ基礎ニナル一分デナクシテ、寧ロ其一分ハ減ラウトモ殖ヘル見込ハ極メテ少イヤウナ推測ガ下サレルモノデアリマスカラ、結局龍野・網干港間ニ於テモ營業ノ繼續ハ出來ナイモノト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○子爵秋元春朝君 私ノ申スノハ、言葉ガ

足リナカッタカモ知レマセヌケレドモ、ソレハ能ク分ッテ居ルノデゴザイマス、併シ自動車デヤレバモット具合良ク網干・龍野間ノ經營ハ出來ルノデハナイカ、無論鐵道デヤレバ、全部ノモノガ半分ニナルノデスカラ、色ミナ經費モ掛リマスカラソレハ變リマセウ、ソレハ御尤デス、一分何厘カニナルガラウト思ヒマスガ、鐵道デナシニ鐵道ヲ敷イタ線路ヲ持ッテ居リマスカラ、殊ニ四呎八吋ト云フ幅ノ廣イ道路デスカラ、之

ヲチヨット改築シテ、自動車ヲソレニ通スト云フコトハ、大シテ私ハ費用ノ掛ルコトデハナイト思ヒマス、サウシテ廉イ投下資本ノ自動車ヲ其所ニヤッテ行ケバ時間モ早カラウシ、サウシテ自分ノモノデスカラ、外ノ妨害モアルマイシ、早ク障害物ナシニ走レルト云フコトニナレバ、網干港カラ龍野ニ行クニシテモ、姫路カラ龍野ニ行クニシテモ、モット具合能ク行ケハシナイカト云フコトヲ、チヨット御伺ヒシテ見タイト思ヒマス

○政府委員(喜安健次郎君) 私チヨット御

質問ノ趣旨ヲ取違ヘテ居リマシテ、恐縮イタシマスガ、線路ヲ引ッ剝ガシマシテ、跡ヲ自動車專用道路ト云フ風ニ致シマシテヤッタラ、相當行ケハシナイカ、斯ウ云フ御話デゴザイマシタガ、先程カラ大臣カラ御話申上ゲマシタ如ク、此電車ヲ止メマシタ跡ヘ「バス」ヲヤッテ、不便ヲ受ケル御客ノ救済ヲスルコトニナッテ居ルノデアリマス、其「バス」ハ勿論アスコノ電車ニ竝行シテ現在存シマスル道路上ヲ走ル「バス」デゴザイマスガ、其「バス」ノ收支ノ豫想ヲシテ見マスト、約興業費ハ十二三萬圓掛ル、マア大體車輛費、車庫等ノ費用デゴザイマスガ、十二三萬圓ヲ掛ケテ「バス」ヲヤルノデアリマス

ガ、餘リ好イ儲ケニナラナイノデゴザイマス、「バス」ヲヤリマシテモ……、ソレデゴザイマスカラ若シ「レール」ヲ引ッ外シタ跡ヲ「バス」ノ通ルヤウニシマスノニハ、可成リ金ガ掛ル、殊ニ山陽本線ヲ丁度網干ノ所デ上ヲ越シテ居リマス、現在ノ鐵道ハ……ソレナシカラヤリマスノニハ可成リ金ガ掛ル、ソレヲ專用道路ニシテヤリマシタノデハ、尙ホ更懷ロ勘定ガ惡クナルヤウニ思ハレマス

○子爵秋元春朝君 其點デス、其點ニ付テ

私ハ昨日ノ鐵道委員會ニ於テモ申上ゲタノデスガ、公衆ノ爲ニ使用スル道路ヲ省營「バス」ガ通過スルナラバ、非常ナ迷惑ヲ公衆ニ及ボス、斯ノ如キ廢物ニナツタ專用道路ヲ省營ト云ハズ民間ト云ハズ、單獨ニヤルナラバ何モ民間「バス」ヲ、民業ヲ壓迫スルトカ何ト云フヤウナ事情モ起リマヌシ、サウシテ輸送ニ於テ非常ニ早ク出來ルカラ、サウシテ勝手ナモノガ運ベル、之モ亦二呎六吋ヤ何シカノ少サイ軌道デアレバサウ云フコトハ出來マセヌガ、四呎八吋ト云フ非常ニ幅ノ廣イモノデアリマスカラ、ソレナラバ此方ガ何モ補償ヲ願ッテマデ行カナクテモ、會社トシテソレニ振替ッテ、龍野カラ新宮マデ兎ニ角補償ヲ頂戴スルノデアリマスカラ、其金ノ一部ヲ以テ之ヲヤレバ、非常ニ宜イ

ヂヤナイカ、斯ウ云フヤウナ考カラ御伺ヒ致シタノデアリマス、此點ヲ唯御伺ヒ致シタノデアリマス、別ニ私ハ補償ガ惡イトカ、或ハ之ニ反對スルトカ云フ意味デ伺ッタノデハゴザイマセスケレドモ、チヨット了解イタシマセヌデシタカラ、其點ヲ伺ッタ次第デアリマス、コレダケデス

○委員長(伯爵有馬賴寧君) 如何デセウカ今日ハ此程度デ……

○青木周三君 モウ御終ヒニナリマスナラ私チヨット伺ヒタイコトガアリマスガ

○委員長(伯爵有馬賴寧君) チヨット速記ヲ……

(速記中止)

○委員長(伯爵有馬賴寧君) デハ明日ハ本會議ハアリマセスカラ午前十時カラ始メマス、本日ハ是デ散會イタシマス

午後三時二十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵有馬 賴寧君  
副委員長 男爵中村 謙一君  
委員

公爵山縣 有道君  
侯爵佐佐木行忠君  
子爵加藤 泰通君  
子爵秋元 春朝君

子爵高橋 是賢君

大島 健一君

桑山 鐵男君

男爵辻 太郎君

男爵小畑大太郎君

青木 周三君

古島 一雄君

風間八左衛門君

國務大臣

鐵道大臣 三土 忠造君

政府委員

鐵道政務次官 名川 侃市君

鐵道參與官 板谷 順助君

鐵道省監督局長 喜安健次郎君

鐵道省運輸局長 日淺 寛君

鐵道省建設局長 池田 嘉六君

鐵道省工務局長 黑河内四郎君

鐵道省電氣局長 男爵飯田精太郎君

鐵道省經理局長 工藤 義男君

昭和九年三月二十日印刷

昭和九年三月二十日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局